

日本福祉大学 通信教育部

科目概要 2025 年度

開講科目の内容については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- [注意] 在学しているカリキュラムによって、履修できる科目が異なります（【KVのみ】【KAのみ】と記載されている科目）。また、科目によっては履修することができない学年がありますので、学年配当の欄をご覧ください。
- [注意] 科目等履修生は「スタートアップセッション」「フォローアップセッションⅠ・Ⅱ」「学びの技法Ⅱ（文書作成演習）」「障害者スポーツ研究」「研究論文指導」「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ（精神）」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ（精神）」「ソーシャルワーク実習（精神）」の履修はできません。

凡 例

- 必** 卒業必修科目です。必ず履修してください。
- 必選** 選択必修科目です。分野（①福祉分野、②経営分野）ごとに定める単位数以上を修得する必要があります。2025年度以降の入学生が対象です。詳細は『出願手続要項』をご確認ください。
- 社** 社会福祉士国家試験受験資格指定科目
- 精** 精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目
- 心** 認定心理士指定科目
- A** AFP 資格審査試験受検資格指定科目
- 新1,2,全** 新1、2年次入学生全員履修科目
- 多** 多職種連携教育プログラム科目

(1) オンデマンド科目

オンデマンド 科目	福祉経営序論	必	単 位 数	1単位	学年配当	1～
			担当教員	福祉経営学部(通信教育)教員		
テーマ 通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを学ぶ。						
科目のねらい 通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、福祉経営学習の全体の見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求等々に向けての学習意欲を喚起する。						
オンデマンド 科目	スタートアップセッション	必	単 位 数	1単位	学年配当	1～
			担当教員	新川綾子		
テーマ 本学独自の学習システムを知り、卒業までの道筋を理解する。自分の目標や状況に応じた学習計画を立てることを身に付け、今後のキャリアを展望することができるようになる。						
科目のねらい 日本福祉大学の歴史、通信教育部の学習システム、カリキュラムを知る。さらに、大学における学びとはなにか、卒業後のキャリアをどのように考えたら良いのかについても理解を深める。						
オンデマンド 科目	福祉社会入門		単 位 数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	小林眞弓		
テーマ 「ひろがるふくし」の観点から、特に「くらし」を中心に「くらし・いのち・いきがい」の関係を学ぶ。						
科目のねらい 「福祉」という言葉は、「しあわせ」を意味します。その英文であるウェルフェアは、「よりよく生きる」という意味です。福祉社会は、「いのち」「くらし」「いきがい」を大切に、人がゆたかに生きていくことを支える社会です。福祉社会を実現するためには、社会福祉をはじめとして、さまざまな分野の研究や実践が力を合わせる必要があります。これを「人間福祉複合」と呼んでいます。「福祉社会入門」では、「広がるふくし」の観点から「福祉」への接近について学びます。						
オンデマンド 科目	実践英会話		単 位 数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	石田知美		
テーマ 英会話だけではなく、英語を使う場面での基本情報、異文化についても学ぶ。						
科目のねらい 看護師の洋子さんがハワイの病院の視察を行うというストーリーで基本的な英会話を学ぶが、英会話だけではなく、英語を使う場面での基本情報、異文化についても学ぶ。アポイントの取り方、パスポートの取得や、英文電子メールなどの学習も行いPCの特性を生かし、単語の反復練習を行う。単語数は1500語レベル。						
オンデマンド 科目	英語プレゼンテーション		単 位 数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	影戸 誠		
テーマ 英語で集団に伝える技法を習得する。また覚えていても出てこない単語、記憶をしても使えない単語、そんな学習レベルの英語を、活用レベルに変える						
科目のねらい 英語で多数に伝える力を身に着けます。外国人観光客、地域や職場での国際化、今まさに英語学習の成果が問われる場面が出てきています。これまで英語活用の場面がなかったがゆえに、「活用されなかった英語」に息吹をあたえるのがこの講義の目標です。覚えていても出てこない単語、記憶をしても使えない単語、そんな学習レベルの英語を、活用レベルに変えるがこの科目の特徴です。						
オンデマンド 科目	インターネット演習Ⅰ		単 位 数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	桜井栄一		
テーマ パソコンやインターネットなどについての基本的な内容を学ぶ						
科目のねらい パソコンやインターネットなどについての基本的な内容を学習する。具体的には、ワープロ、表計算ソフトの基本的な活用の他、画像の取り扱い、ネットワークを用いたコミュニケーションなどを取り上げる。基本的な事項を確実におさえることにより、道具として適切に、安心して、自分なりのスタイルで有効に活用していくことができるようになることを目指す。						
オンデマンド 科目	インターネット演習Ⅱ		単 位 数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	桜井栄一		
テーマ 情報を正確に、スマートに相手に伝えるために、話す順番を考え、効果的な図やグラフを使い、さらに話し方のポイントを学ぶ。						
科目のねらい 職場や学校での魅力あるプレゼンテーションは今後ますます重要になってくる。相手に何が残ったのか、そのことが情報伝達の結果である。情報を正確に、スマートに相手に伝える。これがこの科目のテーマである。日本人は情報伝達や説明が下手だといわれるが、方法さえわかれば効果的な情報伝達が可能である。話す順番を考え、効果的な図やグラフを使い、さらに話し方のポイントを学ぶ。これを機会にその手法を是非、身につけてほしい。						

オンデマンド 科目	哲学	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	片山善博		
テーマ					
人間とは何かを問う					
科目のねらい					
ソクラテスの「汝自身を知れ」を手がかりに、私あるいは私たちにとって身近なテーマでもある、時間や自己、他者、権利、愛、美などについて、根本的（原理的）に考えていきます。また、私たちが普段、当たり前にも思っていることが実は全く当たり前でないということを知る経験を通して、物事の本質を探究します。さらに、哲学の古典を紹介しながら、現代的な問題について、哲学的に考えていきます。					

オンデマンド 科目	法と人権	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	三宅裕一郎		
テーマ					
人権感覚を涵養する					
科目のねらい					
私たちは意識するとしなやかにかかわらず、普段から網の目のようにはりめぐらされた「法」の中で生活している。そして、恐らく多くの方にとって、法は私たちを縛る堅苦しいルールとしてのみ認識されがちである。しかし、法の役割とは、決してそれだけにとどまるものではない。むしろ、ここで注目していただきたいのは、法が私たちの権利を保障するという重要な役割をも担っているということである。そして、すべての法やそれにに基づく制度の根底には、人が人であるという理由で平等に保障されるべき「人権」の観念が存在している。換言すれば、人権を損なうような法や制度は、存在そのものが根底から問い直されなければならないことになる。この講義では、人権の存在を絶えず意識しながら、主に福祉にかかわる法現象（トピック）を取り上げて考察し、人権の意義について理解することをねらいとする。					

オンデマンド 科目	居住福祉論	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	児玉善郎		
テーマ					
すべての人の安全で快適な生活を可能にする上で人やサービスによる支援とそれが有効に機能する環境を一体的に捉える「居住福祉」について、取り組み実態の問題点と改善課題を学ぶ					
科目のねらい					
すべての人が安全で快適な毎日の暮らしを送る上では、住まいやまちの環境が整っていることがその基盤となる。生活を送る上でなんらかの支援が必要な人たちにとって、人やサービスによる支援が有効に機能する上で、それらが提供される場や空間が整っていることが求められる。地域共生社会においては、人と人がつながり支え合う取り組みが求められ、その活動を可能にする上では人々が安心して集う場があることが重要な要素となる。このような人やサービスによる支援とその環境を一体的に捉える「居住福祉」の考え方を理解し、現状の取り組み実態とこれからの課題について学ぶことを本講義の目的とする。					

オンデマンド 科目	子どもソーシャルワーク入門	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	後藤澄江		
テーマ					
現代のこどもをめぐる課題やその要因について社会的な枠組みから俯瞰するとともに、それぞれの課題に関連した相談・支援に携わる専門職の役割や政策の現状とあり方を学ぶとともに、子どもの権利の視点にたって、こどもの育ちや家庭の子育てを支える具体的な方法について考察を深める					
科目のねらい					
近年、こどもの育ちや家庭での子育てを取りまく社会環境の変容等を背景として、こどもの育ちや子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化してきている。このような中、「児童等に対する家庭及び養育環境の支援を強化し、児童の権利の擁護が図られた児童福祉施策を推進」することを目的として、2022 年 6 月には改正児童福祉法が成立した。具体的には市町村への要保護児童等への包括的かつ計画的な支援の実施の業務追加や市区町村における子育て家庭への支援の充実等が掲げられている。改正法から、こどもの権利を守るという視点に立ち、地域を基盤としたこどもや子育て家庭への支援の継続的・包括的支援の拠点づくりやこども家庭福祉分野でのソーシャルワークが展開できる人材育成等の必要性を読み取ることができる。本講義では、虐待や貧困、いじめ等の今日のこどもとその家庭が抱える課題・困難及びその背景や要因を理解する。また、こども・子育てをめぐる支援の現場実践や制度・政策を幅広く概観し、それぞれの課題に携わる専門職が身に着けるべき姿勢や役割を学ぶ。さらに、こどもの最善の利益の実現を第一として、こども・子育てをめぐるソーシャルワークを展開する際に大切にすべきことについて、考察を深める。					

オンデマンド 科目	医学概論	社 精	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	中村 了、前田恵子、岩田充永		
テーマ						
身体構造と心身機能及び様々な疾病や障害の概要について学ぶ						
科目のねらい						
このオンデマンド教材は『医学概論（最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座）』（日本ソーシャルワーク教育学校連盟編・中央法規出版）に沿って、医学・保健医療に関する基礎的な知識と典型的な疾患概念、標準治療を理解することを目的として、各専門分野の教員によるオムニバス科目となっている。						
①ライフステージにおける心身の変化と健康課題						
②健康および疾病の捉え方						
③身体構造と心身機能						
④疾病と障害の成り立ち及び回復過程						
⑤リハビリテーションの概要と範囲						
⑥疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション						
⑦公衆衛生						

オンデマンド 科目	心理学	社 精 心	単 位 数 担当教員	2 単位 中村 信次	学年配当	1 ～
テーマ 人の心を理解するための科学的アプローチに関し、基礎的な理解を得ることを学ぶ 科目のねらい 人間の心の問題を広く取り扱う心理学の知識は、福祉の現場をはじめとした、様々な人とかかわる環境において、円滑な人間関係を構築する上で重要な役割を果たす。現代社会で大きな課題となっている心の健康の問題や心理的支援の方法等を広く講義することにより、人の心を理解するための科学的アプローチに関し、基礎的な理解を得ることを目的とする。						
オンデマンド 科目	社会学	社 精	単 位 数 担当教員	2 単位 山口 宏	学年配当	1 ～
テーマ 個々の問題や人に向き合っていくなかで、その背後にある社会の広がりを考えたり、常識とされる価値観を問い直してみたり、多様な視野を身につける 科目のねらい 社会学は身近なコミュニケーションから家族、地域、メディア、そしてグローバルな問題など、非常に幅広い対象を扱うもので、受講者はやや戸惑いもあるかもしれない。しかし社会制度や生活の歴史的変遷やさまざまな領域の問題を見ていくことで、福祉の現場実践を行なっていくうえでの背景知は広がっていくはずである。個々の問題や人に向き合っていくなかで、その背後にある社会の広がりを考えたり、常識とされる価値観を問い直してみたり、多様な視野を身につけることができると思う。						
オンデマンド 科目	社会福祉原論 【KAのみ】	必修 社 精	単 位 数 担当教員	4 単位 明星 智美	学年配当	1 ～
テーマ 「社会福祉とは何か」について理論的側面、政策的側面から探究する 科目のねらい 本科目は、社会福祉を専門的に学ぶための導入科目の位置づけである。社会福祉の全体像をできるかぎり総合的、体系的な枠組みと方法に総合化し、理論化したものを受講生と共有し、学問的な基礎をつくることを目的とする。						
オンデマンド 科目	医療福祉ビジネス	必修	単 位 数 担当教員	2 単位 後藤 芳一	学年配当	1 ～
テーマ 医療・福祉への社会の要請を踏まえ、自分のなかに体系と理論を持ちつつ実践に対応できるよう、事業や組織運営の基本的な枠組を学ぶ 科目のねらい 人口の高齢化が進み、障害者の差別解消と社会参加が急がれるなか、医療・福祉事業の社会的役割が増している。しかるに当分野は、保険制度や規制法令の影響を受けることから特殊性が強調され、事業の運営は制度への対応に注意が偏りがちになる。一方、医療・福祉サービスの質を維持しつつ安定して提供するには、適正な利益をあげつつ組織を運営するという持続性が鍵になる。それには経営戦略、マネジメント、職員の動機づけなど、事業・組織運営の基本を押さえる必要がある。これらの点は、一般の産業に豊富な経験と理論の蓄積があり、その多くは医療福祉分野に活用できる。こうした基本の枠組を押さえた上で医療福祉分野の特殊性を考えることによって、理論に裏打ちされた実践とその応用が可能になる。事例を活用しつつ基本の理解をめざす。						
オンデマンド 科目	福祉情報技術		単 位 数 担当教員	2 単位 巖淵 守	学年配当	1 ～
テーマ 実際の相談導入・利用事例の概説を含め、特に電子・情報技術をベースとした AT（Assistive Technology）の概要を学ぶ 科目のねらい アシスティブテクノロジー（Assistive Technology：以下、AT）は、日本では「福祉用具」「支援技術」といわれる分野であり、「障害のある人の生活を助けるテクノロジー」を意味する。車いす、自動具、コミュニケーション機器等あらゆる生活場面で利用される福祉用具や住宅・まちづくり等の環境整備は、AT の役割でもあり、最近ではパソコンやスマートフォンなど、身の回りにあるテクノロジーの AT としての利用も一般化しつつある。この講義では実際の相談導入・利用事例の概説を含め、特に電子・情報技術をベースとした AT の概要を学ぶ。						
オンデマンド 科目	ファイナンシャルプラン作成	A	単 位 数 担当教員	1 単位 安藤 朋子	学年配当	1 ～
テーマ FP（ファイナンシャルプランニング）実務において「商品」となる提案書（プラン）の内容と作成手順を学ぶ。 科目のねらい FP（ファイナンシャルプランニング）実務において「商品」となる提案書（プラン）について、その意義と位置付けを理解し、ライフイベント表・キャッシュフロー表・バランスシートの作成、保険の見直しや資産運用の提案といった提案書の内容と作成手順を学習する。最終的には、与えられた課題に基づき、実際に提案書を作成し、提案書作成技術の習得を目指す。						
オンデマンド 科目	福祉サービスの組織と経営 【KAのみ】	必修 社	単 位 数 担当教員	2 単位 綿 祐二、岩田 純	学年配当	2 ～
テーマ 福祉事業体の経営に関し、実践的な経営管理（マネジメント）の在り方を学ぶ 科目のねらい 福祉経営は、事業運営や人材育成・人材開発であるマネジメント領域と財務及び労務などのアドミニストレーション領域の両面から学習していくことが重要である。マネジメントでは、福祉事業体の理解、理論と実践の融合できる専門職、福祉現場のリスクマネジメント、意思決定支援の実践、人権擁護および専門職倫理、リーダーシップに関する基礎理論、集団の力学に関する基礎理論などを学修する。労務および財務では、管理運営の基礎理論、人事考課、労務環境整備、今後の経営戦略などを学ぶ。福祉経営を福祉と経営の両面から包括的にとらえていくことが重要になってくる。福祉事業体の経営に関し、基礎的な内容と、実践的な経営管理（マネジメント）の在り方を学ぶことが本講義の目的である。						

オンデマンド 科目	福祉経営論 【KVのみ】	社	単位数 担当教員	2単位 綿 祐二、岩田 純	学年配当	1～
テーマ 福祉事業体の経営に関し、実践的な経営管理（マネジメント）の在り方を学ぶ 科目のねらい 福祉経営は、事業運営や人材育成・人材開発であるマネジメント領域と財務及び労務などのアドミニストレーション領域の両面から学習していくことが重要である。マネジメントでは、福祉事業体の理解、理論と実践の融合できる専門職、福祉現場のリスクマネジメント、意思決定支援の実践、人権擁護および専門職倫理、リーダーシップに関する基礎理論、集団の力学に関する基礎理論などを学修する。労務および財務では、管理運営の基礎理論、人事考課、労務環境整備、今後の経営戦略などを学ぶ。福祉経営を福祉と経営の両面から包括的にとらえていくことが重要になってくる。福祉事業体の経営に関し、基礎的な内容と、実践的な経営管理（マネジメント）の在り方を学ぶことが本講義の目的である。						
オンデマンド 科目	国際福祉開発		単位数 担当教員	2単位 斎藤千宏	学年配当	1～
テーマ 途上国において女性、教育、保健医療、障害者などの分野でどのような試みがなされているのかを、多くのゲストによる講義を通して学ぶ 科目のねらい 人々の福祉が高まるためには、政府行政、市場制度、地域社会の住民力、NGO／NPOなどの市民力が効果的に影響しあうことが必要であるとの視点に立ち、途上国において女性、教育、保健医療、障害者などの分野でどのような試みがなされているのかを、多くのゲストによる講義を通して学ぶ。						
オンデマンド 科目	福祉社会開発の支援ワーク		単位数 担当教員	1単位 吉村輝彦	学年配当	1～
テーマ 「福祉社会開発」という概念とそれを踏まえた地域をベースにした支援ワークのあり方 科目のねらい 「福祉社会開発」の支援ワーカーは、地域社会に働きかけ、新たな福祉プログラムが開発される方向へ地域社会の関係変容を促す「コミュニティ変化の触媒役」（change agents）である。専門職として確立されているわけではないものの、実質的には、多様な立場の人々によって担われている。とはいえ、こうした役割を果たすには、やはり固有のスキルが必要である。しかし、その方法論が確立しているとはいえない。この科目では、既存のソーシャルワークの到達点と限界を踏まえ、「福祉社会開発」という概念を示し、そうした概念を踏まえた、地域をベースにした支援ワークのあり方を考えていく。現場の生きた素材を基に、様々な既存の専門職がどのような発想とスキルによって「地域」にアプローチしてきたのかを、受講者が考える機会となる。いくつかのロールモデルに関する議論を通じて、受講者自身の主体形成を促すのが目的である。						
オンデマンド 科目	ふくしと減災コミュニティ		単位数 担当教員	2単位 佐藤大介	学年配当	1～
テーマ ふくしの視点で地域減災について理解するとともに、市民としての役割を知る 科目のねらい 普段の暮らしを維持していくための「ふくし」と、万が一の災害時に被害を最小限にとどめるための「減災」、その減災に向けた取り組みを行なう「コミュニティ」の三者は、いずれも密接に関わっている。この科目では人々の「ふだんの・くらしの・しあわせ」を守っていくための広域的な視点、地元の視点、一市民としての視点からそれぞれ学び、地域コミュニティが減災に果たす役割について考えていく。						
オンデマンド 科目	地域福祉と包括的支援体制 【KAのみ】	社 精	単位数 担当教員	4単位 山本克彦	学年配当	2～
テーマ 地域福祉の基本的な考え方とともに包括的支援体制を理解する。また地域福祉の推進方法について理解する。 科目のねらい ・地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。 ・地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 ・地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。 ・地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。 ・包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解する。 ・地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。						
オンデマンド 科目	日本の中の多文化		単位数 担当教員	2単位 Kirstie 祖父江	学年配当	1～
テーマ 現在日本に存在する「多文化」に焦点を当てることによって、現代日本の社会を見直していく 科目のねらい 日本に住んでいる外国人が年々増え、多くの自治体や市民団体の間に「多文化共生」が最近のことかのように話題になりつつある。この考え方の背景に、日本が「単一文化」の国であるという概念がある。しかし、あらゆる側面で以前から異文化を持つ者同士が日本に「共生」している。この講義を通して、日本の歴史的な多文化共生に関する政策や、以前から日本国内にいる諸々の文化的背景を持つ人たちのことを、本人の言葉などを通して学ぶ。すでに日本に存在する「多文化」に焦点を当てることによって、日本の社会を見直していく。						

オンデマンド 科目	スポーツマネジメント	単 位 数 担当教員	2 単位 荒深裕規	学年配当	1 ～
テーマ	スポーツを取り巻く環境、心身の状況に応じたスポーツとのかかわり方などを幅広く学ぶ				
科目のねらい	スポーツの現状について、国の政策から個人のスポーツ参加や支える組織団体などのスポーツを取り巻く環境、さらに心身の状況に応じたスポーツとのかかわり方などまで幅広く学ぶ。また、スポーツの健康への効果や海外のスポーツ振興について様々なデータや実際の取り組み方などからも学ぶ。				
オンデマンド 科目	社会保障 【KAのみ】	社 精	単 位 数 担当教員	4 単位 李 忻	学年配当 1 ～
テーマ	社会保障制度について学ぶ				
科目のねらい	・現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む）について理解する。 ・社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。 ・公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ・社会保険制度の体系と概要について理解する。 ・年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。 ・諸外国における社会保障制度の概要について理解する。				
オンデマンド 科目	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ 【KAのみ】 必修	社 精	単 位 数 担当教員	4 単位 田中和彦、上山崎悦代	学年配当 2 ～
テーマ	ソーシャルワークの過程とそれに係わる知識と技術について理解する				
科目のねらい	本科目では、以下に示す5つのねらいに沿って講義を展開している。 1. 人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 2. ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 3. ソーシャルワークの過程とそれに係わる知識と技術について理解する。 4. コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 5. ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。 各講において、これらの内容を取り扱い、多様な実践場面に活用できるソーシャルワークの理論及び方法に関する知識の習得を目指す。				
オンデマンド 科目	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 【KAのみ】	社	単 位 数 担当教員	4 単位 安藤健一	学年配当 2 ～
テーマ	社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するために、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する				
科目のねらい	1. 社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するために、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。 2. 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしをおこなうための、知識と技術について理解する。 3. 社会資源の活用をふまえ、地域における社会資源の開発やソーシャルワークアクションについて理解する。 4. 個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。				
オンデマンド 科目	権利擁護と成年後見 【KV1年生～、KA2年生～】	社 精	単 位 数 担当教員	2 単位 鷺野林平	学年配当 KV1～、KA2～
テーマ	ソーシャルワーカーとして、判断能力の不十分な認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の権利を代弁する役割、手段・方法について、日本国憲法の基本原理、民法、行政法、社会法等の関わりの中で理解する。				
科目のねらい	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分な方々の権利擁護を考えるにあたり、日本国憲法の下に存在する様々な法律の関わりがあることを知り、また、成年後見制度、虐待防止法等の権利擁護の法制度が複合的な支援システムとして位置づけられていることを明らかにしていく。さらには、関係機関の役割、具体的な事例を通して、権利擁護の現状と課題について理解する。				
オンデマンド 科目	刑事司法と福祉 【KAのみ】	社 精	単 位 数 担当教員	2 単位 鷺野明美	学年配当 2 ～
テーマ	刑事司法等におけるソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士等）の役割について理解する				
科目のねらい	刑事司法等の対象となった人たちのなかには、福祉の支援を必要としている人たちが相当数含まれていることが明らかとなりました。このことから、近年、司法と福祉の連携による支援が進められ、刑事司法分野等への社会福祉士、精神保健福祉士の配置が進むなど、新たな領域でのソーシャルワーク実践が展開されています。このような状況を踏まえ、本科目では、刑事司法等の近年の動向とこれを取り巻く社会環境、刑事司法等に関する法、制度、そして、それらを担う人や機関について学ぶとともに、刑事司法等におけるソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士等）の役割、さらには、今後の課題と展望について学びます。 ※「刑事司法等」とは、刑事司法、少年司法、更生保護、医療観察、犯罪被害者支援のことを言います。				

オンデマンド 科目	保健医療と福祉 【KAのみ】	社	単位数 単位数	2単位	学年配当	2～
			担当教員	上山崎悦代		
テーマ 「保健医療と福祉／保健医療サービス」に関わる知識を習得し、現状や課題に関する理解を深めるとともに、保健医療領域におけるソーシャルワークについて学ぶ。 科目のねらい この科目では、福祉経営学部ディプロマポリシーで求められる「医療・福祉に関する基礎概念を説明することができる」、「医療・福祉に関する制度や技術を説明することができる」、「人びとや地域の抱える課題の発見と解決に取り組むことができる」、「人の尊厳を尊重し、行動することができる」を目的に、保健医療と福祉に関わる知識等の修得を目指す。具体的には、保健医療領域にかかわる諸制度や医療倫理といった課題、さらには保健医療の各種専門職に対する理解を深める。さらに、保健医療領域におけるソーシャルワークを実践するうえで必要となる基礎的事項とソーシャルワークを展開するうえでの留意点、課題などを多角的に論ずる。そのうえで、保健医療領域に求められるソーシャルワークのありかたを検討したい。 ●医療機関（特定機能病院）で社会福祉士及び精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、保健医療分野のサービスや福祉に関する講義を行う。						
オンデマンド 科目	保健医療サービス 【KVのみ】	社 精	単位数 単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	上山崎悦代		
テーマ 「保健医療と福祉／保健医療サービス」に関わる知識を習得し、現状や課題に関する理解を深めるとともに、保健医療領域におけるソーシャルワークについて学ぶ。 科目のねらい この科目では、福祉経営学部ディプロマポリシーで求められる「医療・福祉に関する基礎概念を説明することができる」、「医療・福祉に関する制度や技術を説明することができる」、「人びとや地域の抱える課題の発見と解決に取り組むことができる」、「人の尊厳を尊重し、行動することができる」を目的に、保健医療と福祉／保健医療サービスに関わる知識等の修得を目指す。具体的には、保健医療領域にかかわる諸制度や医療倫理といった課題、さらには保健医療の各種専門職に対する理解を深める。さらに、保健医療領域におけるソーシャルワークを実践するうえで必要となる基礎的事項とソーシャルワークを展開するうえでの留意点、課題などを多角的に論ずる。そのうえで、保健医療領域に求められるソーシャルワークのありかたを検討したい。 ●医療機関（特定機能病院）で社会福祉士及び精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、保健医療分野のサービスや福祉に関する講義を行う。						
オンデマンド 科目	精神保健福祉の原理 【KAのみ】	精	単位数 単位数	4単位	学年配当	2～
			担当教員	青木聖久		
テーマ 精神障害者へのかかわりについて、先人の精神医学ソーシャルワーカー（MHSW）たちが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の固有性を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く 科目のねらい ①「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）について理解する。 ②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。 ③精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。 ④精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 ⑤現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解する。 ⑥精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。 ⑦近年の精神保健福祉の動向をふまえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行なう。						
オンデマンド 科目	公的扶助論 【KVのみ】	社 精	単位数 単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	明星智美		
テーマ 今日の生活困窮・低所得者を取り巻く情勢をふまえ、生活保護法および関連諸制度を通じて、人としての権利と低所得者の自立支援における専門職の役割を明らかにする 科目のねらい 日本国憲法が規定する人が人たるにふさわしい生活を送る権利を守る最後のセーフティネットが公的扶助制度である。社会福祉の歴史における貧困や低所得の概念、今日の貧困・低所得者を取り巻く情勢をふまえ、生活保護法および関連諸制度を通じて、人としての権利と低所得者の自立支援における専門職の役割を明らかにする。多様な貧困観、自立観、援助観があるなかで、ソーシャルワーク専門職にふさわしい貧困観、自立観、援助観の涵養をめざす。						
オンデマンド 科目	公的扶助 【KAのみ】	社	単位数 単位数	2単位	学年配当	3～
			担当教員	明星智美		
テーマ 今日の生活困窮・低所得者を取り巻く情勢をふまえ、生活保護法および関連諸制度を通じて、人としての権利と低所得者の自立支援における専門職の役割を明らかにする 科目のねらい 日本国憲法が規定する人が人たるにふさわしい生活を送る権利を守る最後のセーフティネットが公的扶助制度である。社会福祉の歴史における貧困や低所得の概念、今日の貧困・低所得者を取り巻く情勢をふまえ、生活保護法および関連諸制度を通じて、人としての権利と低所得者の自立支援における専門職の役割を明らかにする。多様な貧困観、自立観、援助観があるなかで、ソーシャルワーク専門職にふさわしい貧困観、自立観、援助観の涵養をめざす。						

オンデマンド 科目	ヒューマンケアのための多職種連携		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	野尻紀恵、上山崎悦代		
テーマ ヒューマンケア（対人援助）における多職種連携の基本と原則について、広い視野にたって基礎的な理解を図る。						
科目のねらい 多職種連携および多職種連携教育／学習について、「ふくしの総合大学」としての本学のコンセプトに則し学ぶ。総論的には、ヒューマンケアについて福祉経営以外を学ぶ人々との共通理解を育むとともに、多職種連携と地域連携の基礎的理念、考え方、知識等を、社会保障や地域包括ケアの概念を含めて伝える。各論としては、暮らしのさまざまな場面を切り口に、そこに関わる多様な職種や地域主体がいかに連携するかを検討する。ヒューマンケアと人々が連携・連帯することについて、外部講師のお話もうかがい、幅広く学ぶ。全体を通じて、多職種連携の必要性について認識するとともに、その困難性や課題などについて問題意識の醸成を図る。						
オンデマンド 科目	認知症の医療とケア		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	中島民恵子、杉山 京		
テーマ 認知症の医療とケアの基礎的知識を理解し、認知症の人、本人の尊厳を重視するケアの実現に向けた学びを深める						
科目のねらい 認知症の人への適切な支援を行っていくためには、疾患別ステージ別の症状や特徴を理解することが大切である。例えば、アルツハイマー型認知症では、時間・場所・人があいまいになることによる生活上の困難が起こる傾向、レビー型小体認知症では幻視や歩行障害などによって生活上の困難が起こる傾向がある。共通した症状もあるが、疾患ごとに症状の特徴が異なる。一方で症状にばかり焦点をあててしまうと、認知症という枠にその人を当てはめて見てしまい、その人の本来の姿や力を見落としてしまう可能性もある。本講義では、認知症の医療とケアの基礎的な知識を理解し、認知症の人、本人の尊厳を重視するケアの実現に向けた学びを深める。						
オンデマンド 科目	リハビリテーション医学		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	近藤克則		
テーマ 従来の（疾患を対象とし、治癒を目的とした）医学とは異なり、障害をも対象とし、「全人的復権」（上田）を目的としているリハビリテーション医学について学ぶ。						
科目のねらい リハビリテーション（以下リハ）医学には、従来の（疾患を対象とし、治癒を目的とした）医学とは異なり、障害をも対象とし、「全人的復権」（上田）を目的としているという特徴がある。現場での体験に乏しい学生諸君にも、具体的イメージが湧きやすいよう、総論（障害の種類によらない共通部分）と各論（障害の種類別）の両面から、具体的症例や実践例を、ビデオなども用いて紹介する。						
オンデマンド 科目	発達精神病理学		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	牧 真吉		
テーマ 心の発達を理解することにより、自閉スペクトラム症を理解してその発達に付き合える。かつ、アタッチメントの発達がうまくできていないことの理解を深める。						
科目のねらい 発達障害という言葉が、世の中に広がっている。それを脳の障害と考えてしまうことによる思考停止が、対応を考えることに悪影響を与えてしまった。よく見ていくと、発達の遅れと考えることで理解できることが多い。発達の遅れは、多くはバラツキによるものであり、必ずしも病的現象ではない。身長や体重の違いを病気として理解しないことと同じである。ただ、こころの育ちは遅れを認めてもらえないことによって新たな負荷を受けることになる。そのことによる二次的な現象が起きてしまう。こうしたことを理解しながら付き合うことによって成長を認めることができる。その子自身の発達に丁寧に付き合うことが、今求められていることである。こうしたことを講義を通して理解することが狙いである。						
オンデマンド 科目	精神障害者支援論		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	青木聖久		
テーマ 精神障害者が社会においてよりよく暮らすにあたって、その支援のあり方を学ぶ						
科目のねらい 本講義では、精神障害者が社会において、よりよく暮らすにあたって、その支援のあり方を学ぶものである。ちなみに、2011年の障害者基本法の改正において、発達障害者が精神障害者の中に含まれることになった。そのことから、本科目で精神障害者と言う場合、発達障害者も含むものである。まず、精神障害者がいかなる社会的支援を活用することによって、等身大の暮らしが実現するかについて考える。とはいえ、「精神障害者」という用語そのものが多様な解釈がなされることから、障害による特徴や課題を提示する。また、精神障害の有無に限らず、人が生き生きと暮らすにあたって、「働く」ということが重要となるため、その関係を示しつつ、一方で、就労支援等についても実践的に迫る。さらに、社会保障制度、とりわけ経済的支援について、生活支援からめつつ、具体の諸制度を紹介しながら、精神障害者の暮らしについて検討する。そして、精神障害者の「働く」を含めた暮らしの実態や経済的支援等を通して、生活支援とは何か、を明らかにすることが本講義の目的である。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行う。						
オンデマンド 科目	アディクションとソーシャルワーク		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	田中和彦		
テーマ ソーシャルワークはアディクションにどう向き合うか、考察を深めていく。						
科目のねらい 「何かに依存している」という言葉は、ネガティブな印象をもって語られることが多く、支援の現場においても表面的な問題の対処に苦慮し、結果として医療・保健・福祉の領域で「依存症は難しい」「依存症にはかわりたくない」という忌避感情の強い現状がある。しかしアルコール健康障害対策基本法施行（2014年）、薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部執行猶予に関する法律施行（2016年）、ギャンブル等依存症対策基本法（2018年）、精神保健福祉士養成課程の養成の在り方等に関する検討会中間報告書における依存症支援体制整備の必要性（2019年）というように、依存症対策及び依存症への支援の必要性は広がりを見せ、ソーシャルワークにおいても実践の質の向上が急務である。本講義では依存症をアルコールや薬物の物質依存にとどまらず、行動嗜癖を含んだより幅広い概念である「アディクション」ととらえ、アディクションに対するソーシャルワークの視点とアセスメント、支援の方法について講義し、アディクションからの回復と回復へのかかわりについて考察を深めていく。 ●精神科医療機関（診療所）で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉やソーシャルワークに関する講義を行う。						

オンデマンド 科目	アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	単位数 担当教員	2単位 市川岳仁	学年配当	1～
テーマ アディクションのリカバリー当事者による援助者の支援論					
科目のねらい アディクションからの回復においては、セルフヘルプが大きな役割を果たすと言われている。かつて治療や援助の客体（対象）でしかなかったアディクトが、セルフヘルプの関係性の中で、ある種の援助役割を獲得しながら主体的に人生を再著述していく姿はダイナミックであり、感動的である。そして、当事者性（経験）を生かした援助の仕事に就く人も多い。だが、当事者としての経験は、それだけを以って十分とは言えない。クライアントの多様性を担保するためにも、自分自身が多様性に関われる必要がある。この講義では、リカバリー当事者が援助者として機能する際に経験する「欲び」「葛藤」「変容」について、その過程を事例で示しつつ、「学び」を通した多面的自己発展について論じる。					
オンデマンド 科目	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ【KAのみ】 必 選 社 精	単位数 担当教員	2単位 明星智美、田中和彦	学年配当	1～
テーマ ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程、ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解し、実践の基礎を形成する					
科目のねらい 本科目は、日本におけるソーシャルワーク専門職である社会福祉士、精神保健福祉士の法的な根拠、定義、位置付けを理解することを目的とする。さらには、社会福祉士・精神保健福祉士の実践の基盤としての「ソーシャルワーク」について、その形成過程、価値規範、倫理、ソーシャルワーク実践についての理解を深め、ソーシャルワーク実践の基盤となる思考、視点、そしてソーシャルワーク実践の言語化をしていくための基盤形成をめざす。					
オンデマンド 科目	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ【KAのみ】 社	単位数 担当教員	2単位 明星智美	学年配当	1～
テーマ 社会福祉士をはじめとするソーシャルワーク専門職の役割や業務内容の理解を基礎に、ミクロ・メゾ・マクロ・レベルにおけるソーシャルワークの対象と実践の連関、総合的かつ包括的な支援の意義と方法を学ぶ。					
科目のねらい 「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ」での学習をベースとして、より社会福祉士に焦点化して専門職としての活動の場の特徴や機能、対象について学習する。また、社会福祉士が実践上向き合うクライアントの抱える課題の複雑化、重層化を背景に、より強く求められるようになってきた多職種・多機関連携に向けて、他職種や連携する機関等の役割や機能、連携のありかたについても学習する。おもな学習内容は次の通りである。 1. 社会福祉士の職域と求められる役割 2. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲 3. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性 4. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容					
オンデマンド 科目	ソーシャルワークの理論と方法（精神）【KAのみ】 精	単位数 担当教員	4単位 田中和彦	学年配当	2～
テーマ 精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する					
科目のねらい 精神障害者及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークとは何か、その課題をもつ人とその家族や周囲の人間関係、地域との関係、社会構造との関係を理解し、ソーシャルワーク実践の必要性和方法について学ぶ。さらには、地域移行・地域定着支援、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムに資する精神保健福祉士となるために、多職種連携、多機関連携について理解を深めるとともに、ソーシャルアドミニストレーションについても理解を深めていく。精神保健福祉分野は多岐にわたり、隣接他領域でのソーシャルワークも必要性が高まっている。どのような分野でもソーシャルワークの思考に基づいた実践ができるソーシャルワーク専門職としての精神保健福祉士となるように、基盤となる理論、方法、実践の展開を連続的に理解する。					
オンデマンド 科目	障害者福祉【KAのみ】 社 精	単位数 担当教員	2単位 綿 祐二	学年配当	2～
テーマ 障害者福祉の現状や課題を学び、今後の障害者福祉の政策や支援システムのあり方について学ぶ。					
科目のねらい 本講義は、障害児者に対する支援をミクロ、メゾ、マクロの視点でとらえ、障害者施策、支援、態度、方向性について学ぶ。また、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉や介護の需要、地域移行や就労の実態について理解する。障害者福祉制度の発展過程を概観し、行政機関、障害者施設、専門職、当事者団体等の役割を理解する。相談援助活動において必要となる障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。内容の概要は、以下の通りである。 ①障害福祉の理解では、「日本の障害者の現状」「日本の障害者施策の方向性」「第6期障害福祉計画」及び「第2期障害児福祉計画」について学ぶ。 ②障害の捉え方では、「障害者の定義と手帳」「ICD・ICIDH から ICF へ」「リハビリテーションの考え方」を学ぶ。 ③障害者福祉の歴史の変遷では、「障害者処遇の歴史の変遷」「障害者福祉制度の発展過程～障害者自立支援法成立」を学ぶ。 ④障害者を支える理念では、「ノーマライゼーション」「ソーシャルインクルージョン」「自立運動・当事者運動」「人権・権利条約批准」について学ぶ。 ⑤障害福祉領域の法制度では、「障害者総合支援法の概要」「障害者総合支援法のサービス内容」「障害者総合支援法におけるサービスの利用手続き」「障害者基本法」「身体障害者福祉法・知的障害者福祉法」「精神保健福祉法」「児童福祉法・医療的ケア児支援法」「発達障害者支援法」「バリアフリー法」「虐待防止法」「障害者虐待の実態と虐待防止の具体的な取り組み」「障害者差別解消法」について学ぶ。 ⑥障害児者と家族等を取り巻く環境では、「障害者雇用の実態」「障害者雇用促進法・ハローワーク」「就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援」「居住支援」「経済的自立（所得保障）」「インクルーシブ教育・特別支援学校」「地域相談援助」「地域移行・地域定着」を学ぶ。 ⑦障害児者と家族等に対する支援の実際には、「障害児者のライフステージごとの福祉サービスとその課題」「児童発達支援事業・放課後等児童デイサービスの概要」「就労継続支援 B 型事業所の実際の様子」「生活介護事業所の実際の様子」「障害者支援施設・共同生活援助の実際の様子」について学ぶ。					

オンデマンド 科目	障害者福祉論 【KVのみ】	社 精	単 位 数 担当教員	2 単位 綿 祐二	学年配当	1 ～
テーマ 障害者福祉の現状や課題を学び、今後の障害者福祉の政策や支援システムのあり方について学ぶ。 科目のねらい 本講義は、障害児者に対する支援をミクロ、メゾ、マクロの視点でとらえ、障害者施策、支援、態度、方向性について学ぶ。また、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉や介護の需要、地域移行や就労の実態について理解する。障害者福祉制度の発展過程を概観し、行政機関、障害者施設、専門職、当事者団体等の役割を理解する。相談援助活動において必要となる障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。内容の概要は、以下の通りである。 ①障害福祉の理解では、「日本の障害者の現状」「日本の障害者施策の方向性」「第6期障害福祉計画」及び「第2期障害児福祉計画」について学ぶ。 ②障害の捉え方では、「障害者の定義と手帳」「ICD・ICIDH から ICF へ」「リハビリテーションの考え方」を学ぶ。③障害者福祉の歴史の変遷では、「障害者処遇の歴史の変遷」「障害者福祉制度の発展過程～障害者自立支援法成立」を学ぶ。④障害者を支える理念では、「ノーマライゼーション」「ソーシャルインクルージョン」「自立運動・当事者運動」「人権・権利条約批准」について学ぶ。⑤障害福祉領域の法制度では、「障害者総合支援法の概要」「障害者総合支援法のサービス内容」「障害者総合支援法におけるサービスの利用手続き」「障害者基本法」「身体障害者福祉法・知的障害者福祉法」「精神保健福祉法」「児童福祉法・医療的ケア児支援法」「発達障害者支援法」「バリアフリー法」「虐待防止法」「障害者虐待の実態と虐待防止の具体的な取り組み」「障害者差別解消法」について学ぶ。⑥障害児者と家族等を取り巻く環境では、「障害者雇用の実態」「障害者雇用促進法・ハローワーク」「就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援」「居住支援」「経済的自立（所得保障）」「インクルーシブ教育・特別支援学校」「地域相談援助」「地域移行・地域定着」を学ぶ。⑦障害児者と家族等に対する支援の実際には、「障害児者のライフステージごとの福祉サービスとその課題」「児童発達支援事業・放課後等児童デイサービスの概要」「就労継続支援 B 型事業所の実際の様子」「生活介護事業所の実際の様子」「障害者支援施設・共同生活援助の実際の様子」について学ぶ。						
オンデマンド 科目	高齢者福祉 【KAのみ】	社	単 位 数 担当教員	2 単位 中島民恵子、杉本浩章	学年配当	2 ～
テーマ 超高齢社会における諸課題及び高齢者に対する支援について多面的・多角的に検討する。 科目のねらい 「高齢者」のイメージを統計資料や制度政策を通して理解し、超高齢社会における諸課題及び高齢者に対する支援について多面的・多角的に検討する。また、高齢者に対する直接的な支援の理解にとどまらず、地域福祉の視点や社会開発までを意識した、超高齢社会で求められるソーシャルワーク実践についての理解を深める。						
オンデマンド 科目	高齢者に対する支援と介護保険制度 【KVのみ】	社	単 位 数 担当教員	4 単位 中村将洋	学年配当	1 ～
テーマ 超高齢社会における諸課題及び高齢者に対する支援について多面的・多角的に検討する。 科目のねらい 「高齢者」のイメージを統計資料や制度政策を通して理解し、超高齢社会における諸課題及び高齢者に対する支援について多面的・多角的に検討する。また、高齢者に対する直接的な支援の理解にとどまらず、地域福祉の視点や社会開発までを意識した、超高齢社会で求められるソーシャルワーク実践についての理解を深める。						
オンデマンド 科目	児童・家庭福祉 【KAのみ】	社	単 位 数 担当教員	2 単位 安藤健一	学年配当	2 ～
テーマ 児童福祉法を中心として児童・家庭福祉の発展過程と制度を理解し、児童と家庭への支援に関連する事項について学ぶ 科目のねらい 児童や家庭の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢や福祉需要（子育て、ひとり親家庭、児童虐待及び家庭内暴力等を含む）について理解する。また、児童福祉法を中心として児童・家庭福祉の発展過程と制度を理解し、児童と家庭への支援に関連する事項について学ぶ。						
オンデマンド 科目	児童福祉論 【KVのみ】	社	単 位 数 担当教員	2 単位 安藤健一	学年配当	1 ～
テーマ 児童福祉法を中心として児童・家庭福祉の発展過程と制度を理解し、児童と家庭への支援に関連する事項について学ぶ 科目のねらい 児童や家庭の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢や福祉需要（子育て、ひとり親家庭、児童虐待及び家庭内暴力等を含む）について理解する。また、児童福祉法を中心として児童・家庭福祉の発展過程と制度を理解し、児童と家庭への支援に関連する事項について学ぶ。						
オンデマンド 科目	就労支援サービス 【KVのみ】	社	単 位 数 担当教員	1 単位 田中和彦	学年配当	1 ～
テーマ 就労支援の制度・政策と実態について学ぶ 科目のねらい ・相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解する。 ・就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解する。 ・就労支援分野との連携について理解する。						

オンデマンド 科目	福祉行財政と福祉計画 【KVのみ】	社 精	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	杉本浩章		
テーマ 福祉の実践現場がどのような法制度や行財政によって規定されているのかを理解するとともに、現場実践における専門的技法だけでなく、地域におけるニーズから共通性や普遍性を見出して福祉計画に反映させる方法を学ぶ。 科目のねらい 行政の骨格、法制度、行政組織の観点から福祉行財政の実施体制や実態を学ぶとともに、今日の社会福祉の中で重要な手法となっている福祉計画が登場した背景やその考え方、社会福祉における計画の意味を理解し、計画への社会福祉専門職の参加の意義を考える。						
オンデマンド 科目	精神保健福祉制度論 【KAのみ】	精	単 位 数	2 単位	学年配当	3 ～
			担当教員	青木聖久		
テーマ 精神障害者に関する法制度の体系について学び、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する 科目のねらい ①精神障害者に関する法制度の体系について理解する。 ②精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ③生活支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ④生活支援制度や生活困窮者自立支援制度等の経済的支援に移管する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ⑤障害者に関する法制度を適切に活用でき、法制度の限界と課題について考えることができる。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行なう。						
オンデマンド 科目	精神障害リハビリテーション論 【KAのみ】	精	単 位 数	2 単位	学年配当	3 ～
			担当教員	牛場裕治		
テーマ 精神障害リハビリテーションプログラムの理解と活用 科目のねらい - 精神障害リハビリテーションの理念と定義 - 医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーションについて - 精神障害リハビリテーションの基本原則 - 精神障害リハビリテーションとソーシャルワークとの関係 - 地域及びリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義 - 精神障害リハビリテーションの対象 - チームアプローチと精神障害リハビリテーションのプロセス - 精神障害者リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割 - 家族支援プログラム - 精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーション - 依存症のリハビリテーション など						
オンデマンド 科目	教育心理学概論	心	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	小平英志		
テーマ 教育や学習における心の現象を理解する 科目のねらい 本講義では、教育心理学の基礎とその応用を扱う。教育心理学という学問領域には、教育に関する事柄のみならず、人間の行動や人間関係全般を理解する上で非常に示唆的な知見が含まれている。まず教育と学習の心理学の基礎を学び、児童・生徒の個性や学級集団の特徴、教授学習の方法について理解を深めていく。						
オンデマンド 科目	心理学研究法	心	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	吉原智恵子		
テーマ 心理学における研究法の基礎を学ぶ 科目のねらい 人の心の働きは、直接見ることも触れることもできない。このような難解なものを理解するためには適切な科学的方法が欠かせない。本講義では、心理学の研究手法の変遷を学ぶとともに、主要な研究方法や研究遂行に関わる倫理など、心理学の研究法に関する基礎知識を習得することを目指す。代表的な研究法として実験法、調査法、観察法、面接法、検査法を取り上げ、これらに関する理解を深めるとともに方法上の諸問題を学ぶ。						
オンデマンド 科目	心理検査法	心	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	堀美和子、早川すみ江、吉野直紀		
テーマ 対象者の適切な理解において大切な方法のひとつである心理検査法について体系的に学ぶ 科目のねらい 本講義では対象者の適切な理解において大切な方法のひとつである心理検査法について体系的に学ぶ。心理検査の理論的背景・心理検査の概要・代表的な心理検査・活用の実際等について学ぶことを通して、研究や心理支援に心理検査を用いる際の基礎的な知識の修得を目指す。						

オンデマンド 科目	知覚心理学	心	単 位 数 担当教員	2 単位 中村信次	学年配当	1 ～
テーマ 人間の意識の基盤である知覚に対する実験心理学的アプローチ						
科目のねらい 我々は、感覚器官を通して環境の情報を得、それらを正しく知覚することによって初めて適応的に行動することが可能となる。知覚的世界は、物理的世界の単なるコピーではなく、各種の内的処理を経て得られる極めて心理的な実在である。本講義では、知覚心理学領域のこれまでの研究成果を説明することにより、知覚の問題が心理学研究においてどのように扱われてきたのかを概観し、人の「こころの問題を考える際の」「知覚的意識」に関する問題の意義を論ずる。						
オンデマンド 科目	発達心理学	心	単 位 数 担当教員	2 単位 工藤英美	学年配当	1 ～
テーマ 乳児期から幼児期、児童期を中心に、年齢と共に変化する発達過程の概要を理解する。						
科目のねらい 乳児期から幼児期、児童期を中心に、年齢と共に変化する発達過程の概要を理解する。ヒトの心の発達の諸特性やメカニズムに関する発達心理学的知見を学ぶ。						
オンデマンド 科目	地域活動実践論		単 位 数 担当教員	1 単位 渋谷篤男	学年配当	1 ～
テーマ 地域の中にあるニーズに目を向ける視点の涵養とそれらのニーズに対応する仕組みや活動としてのさまざまな「地域活動」の実践事例を学んでいく						
科目のねらい 社会福祉制度が充実していく一方、どの時代でも、制度では対応しきれないニーズ、制度につながっていない・つながらずに課題を抱えた人々は存在する。そこに気付くこと、さらには何かにつなげたり働きかけていくということも、ソーシャルワーカーに求められる能力の一つである。この科目では、地域の中にあるニーズに目を向ける視点を涵養するとともに、それらのニーズに対応する仕組みや活動としての、ボランティアをはじめとしたさまざまな「地域活動」の実践事例を学んでいく。また、社会福祉法人等にも求められてきている「地域活動」としての「地域公益活動」についても学ぶことで、ソーシャルワーカーとしての幅広い視野の獲得も期待したい。経験のないに学生にとっては新たに「地域活動」を始める入門科目となり、また、すでに「地域活動」を経験している学生にとっては、これまでの自身の活動を振り返ることで、今後より一層活動を深めて実践していくための機会にしてほしい。						
オンデマンド 科目	キャリア開発		単 位 数 担当教員	2 単位 星野 宏	学年配当	2 ～
テーマ キャリア形成に関する基礎知識や理論を学び、自身のキャリア開発を考える						
科目のねらい 本講義では、主体的に自らのキャリアを形成するために必要な知識や理論を学び、実社会で実践できるようになること目的としています。変化が大きく激しい現代社会の中で、自らがどのようにキャリアを形成していくのか考えます。主に、これから就職や転職活動をされる方や、就職、転職後に、自分のキャリアを深めたい方を対象としています。						
オンデマンド 科目	認知心理学	心	単 位 数 担当教員	2 単位 中村信次	学年配当	1 ～
テーマ 人間の高次認知機能の理解						
科目のねらい 本講義では、パターン認識、記憶、思考などに関する実験心理学的研究を概観することによって、人間の高次意識過程であり、我々の行動の基盤となっている認知活動がどのような特性を持つのかを解説する。また、認知心理学研究の紹介を通じ、実験心理学が持つ固有の方法論、問題意識に関しても講じる。						
オンデマンド 科目	学校心理学	心	単 位 数 担当教員	2 単位 橋本洋治、伊藤修哉、小平美志、野尻紀志、土井裕貴、中村信次	学年配当	1 ～
テーマ 学校にまつわる諸課題と子どもたちの心のありようを学ぶ						
科目のねらい この講義では、子どもたちの学校での生活や学びに注目し、その基礎理論や支援に必要な視点について解説する。まず、子どもたちの学校での学びの基礎を理解した上で、不登校やいじめ、子どものメンタルヘルスなど、学校で起こりうる問題と支援について考えていく。加えて、近年、特にニーズが高まっている特別支援教育や地域連携、チーム学校等の理解を深め、教育現場での心理社会的援助を多面的に理解していく。						
オンデマンド 科目	発達臨床心理学	心	単 位 数 担当教員	2 単位 堀美和子、瀬地山葉矢	学年配当	1 ～
テーマ 発達心理学の視点から臨床的課題を理解し検討する						
科目のねらい 本講義は発達心理学で学んだ基礎的知識の応用編である。乳幼児期から児童期の発達臨床的な課題について概説し、その支援について検討する。						

オンデマンド 科目	福祉心理学	心	単 位 数	2 単位	学年配当	2 ～
			担当教員	山崎康一郎		
テーマ 福祉分野において生じる問題とその背景、必要な心理的支援について学修する						
科目のねらい 福祉分野における心理学的支援が必要な課題、支援方法、福祉関連職種との連携について学修します。特に児童・家庭福祉分野では児童虐待、社会的養護を取り上げ、その影響と心理的支援について学修します。また、障害者福祉分野では、障害児、障害者の理解と心理的支援について学修します。さらに、心理職と社会福祉職の連携について学修します。社会福祉分野においても活かすことのできる心理学的視点を身につけてください。						
オンデマンド 科目	臨床心理学	心	単 位 数	2 単位	学年配当	2 ～
			担当教員	和田浩平		
テーマ 臨床心理学の成り立ちと基礎知識および代表的な理論と方法						
科目のねらい 臨床心理学の主要な理論と具体的な方法について概説する。						
オンデマンド 科目	司法・犯罪心理学	心	単 位 数	2 単位	学年配当	2 ～
			担当教員	千賀則史		
テーマ 犯罪・非行、犯罪被害および家事事件についての基本的知識の習得と司法・犯罪分野における問題への心理的支援の理解						
科目のねらい 司法・犯罪心理学は、司法・犯罪分野において対象となる人々のところや彼らを取りまく環境、そのほかの諸問題について、主に心理学を活かしたアプローチにより理解や支援を行う実践学である。本講義では、司法・犯罪分野の各機関の役割、犯罪・非行に関する基礎的な知識、司法・犯罪分野で行われている心理アセスメントや支援について学ぶ。 ●公務員心理職として心理的支援の経験を持つ教員が、司法・犯罪心理に関する講義をおこなう。						
オンデマンド 科目	教育相談	心	単 位 数	2 単位	学年配当	2 ～
			担当教員	早川すみ江		
テーマ 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理解および方法						
科目のねらい 教育相談は、子どもの人格発達・成長を援助することを目的としている。そこでそれぞれの時期の人格発達上の発達課題や問題について学ぶ。そして教育相談の理論的枠組みとしてのカウンセリング理論とその技法を学習したうえで、不登校やいじめ、非行などについての理解や対応のあり方について考えていく。						
オンデマンド 科目	社会心理学	心	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	吉原智恵子		
テーマ 社会的存在としての人間の行動や認知について学ぶ						
科目のねらい 人は社会的動物であり、他者や集団との関係の中で相互に影響を及ぼしあって生きている。本講義では身近な対人関係や集団から、民族、国家という大きな集団までを含む社会集団と個人との関係について理解することを目指し、社会的関係性の中で形成される自己意識をはじめ、態度、行動、認知に関する諸現象と、集団間の関係について学習する。また本講義を通して人の「社会性」についての考察を深めていく。						
オンデマンド 科目	消費者心理学	心	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	中村信次		
テーマ 消費に関わる人間の心や行動を、心理学の研究や理論によって読み解く						
科目のねらい 人の消費行動における、購買意識や意思決定に対してどのような心理的メカニズムが働くかを学習し、我々の日常における消費行動を多面的に捉え、より良い消費行動を取る能力を身に着ける。						

(2) テキスト・オンデマンド科目

テキスト・オンデマンド科目	社会福祉法人会計	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	新谷 司		

テーマ

社会福祉法人会計基準に定める資金収支計算書、事業活動計算書及び貸借対照表の様式と内容を学ぶ。

科目のねらい

現在の社会福祉法人会計基準は、2016年3月に省令化された会計基準である。本講義ではこの社会福祉法人会計基準に基づく具体的な簿記処理から財務諸表の作成までを学習する。前半はオンデマンド教材を通じて簡単な財務諸表の作成と簿記処理の基礎を学ぶ。後半はテキストを通じて様々な取引の仕訳から仕訳に基づく財務諸表の作成までを詳しく学ぶ。

(3) テキスト科目

テキスト科目	民法	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	近藤充代		
テーマ 市民生活にとって身近である消費者問題を題材に、現代社会における民法の役割を理解するとともに、法的な思考方法を修得する 科目のねらい 民法は、市民間の財産関係、取引関係、身分関係を規律している法律である。本講では市民生活にとって身近である消費者問題を題材に、現代社会における民法の役割を理解するとともに、法的な思考方法を修得することをめざしたい。具体的には、消費者被害の救済という観点から、民法総則（制限能力者制度、意思表示等）、契約の基礎（契約の成立、効力、解除等）を学習した上で、消費者契約の取消権やクーリング・オフなどを規定する消費者契約法、特定商取引法、割賦販売法等の民法特別法（消費者法）についても理解を深めたい。					
テキスト科目	日本史	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	曲田浩和		
テーマ 日本史について政治・経済・文化など幅広く学ぶ 科目のねらい 通史的叙述を柱としつつ、視点・論点についての解説を加えたテキスト（学習指導書「日本史」を含む）を主要教材としながら、歴史的事象が起こった背景・原因を踏まえ、その結果を考えていく。歴史を時代の流れで捉え、個別事象を覚えることを目的とせず、社会のなかで歴史的事象を位置づけることを考える。単に昔のことを学習するだけでなく、人間の行為として、現代につながる視点を大切にしながら、歴史的理解を深める。					
テキスト科目	生物学	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	水野暁子		
テーマ 様々な生物の構造と、構造と機能について学び、人間とは違う生き方をする生物の違いを認めながら、生物としての共通点を理解し、共に地球上の生物の一員であることを理解する。 科目のねらい 原始地球上での生物誕生の歴史や、その後の進化の道をたどることによって、生物としての基本的な構造や機能について学ぶ。人間と似ている生物である動物について学ぶことによって、人間が動物であることを自覚できるようにする。人間と似ていない生物である植物や菌類、原核生物について学ぶことから、それぞれの生き方を認識するとともに、生物としての共通性を理解できるようにする。					
テキスト科目	死生学	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	片山善博		
テーマ 「死を学ぶこと」は「生きることを学ぶこと」であるという立場から、人間としての生きることの＜価値＞について考察する。 科目のねらい 『生と死について学ぶ—死生学』 自らの死を経験してきたものはいない。しかし誰もが確実に死と直面することになる。それは、他人の死、かけがえのないものの死、死に逝く自分というかたちで。先人たちはそうした死と直面し、そこからさまざまな思想や世界観を生み出してきた。死がタブー化されたといわれる現代社会において、彼らの足跡をたどりながら、同時に、新しい死生観を考えていくことは、必要なことであり、有意義なことであろう。本講義では、死生学の歴史と現状、さまざまな死生観とその変遷、延命・生殖・安楽死などをめぐる生命倫理の考え方を取り上げて、死について学ぶことの重要性とその積極的な意義を示したい。「死を学ぶこと」は「生きることを学ぶこと」であるという立場から、人間としての生きることの＜価値＞について考えたい。					
テキスト科目	社会福祉調査論 【KV1年生～、KA2年生～】 社 精 【 精 はKAのみ】	単位数	2単位	学年配当	KV1～、KA2～
		担当教員	藤森克彦		
テーマ 社会福祉調査の意義、目的、方法の概要、必要な倫理及び、個人情報保護の重要性、量的及び質的調査の方法を学ぶ。 科目のねらい 社会福祉が対象とする領域は、国（マクロ）、地域や組織（メゾ）、個人・家族（ミクロ）と広範囲であり多次元に及ぶ。したがって、社会福祉分野の調査・研究には、多次元的視野や複合的調査・研究方法、分析理論が必要となる。社会調査は19世紀のヨーロッパの貧困調査に遡り、科学及び実践としての社会福祉と重要な接点をもつ。社会調査の一分野をなす社会福祉調査は未発達分野であるが、社会福祉の対象が多様化する中、科学的根拠に基づいた実践を進展させるにあたって重要な意味をもつ。講義の目的は三つあり、①社会調査の意義と目的及び方法の概要、②統計法の概要や社会調査における倫理及び個人情報保護、③量的及び質的調査の方法に関する基礎知識を習得することである。					
テキスト科目	学びの技法Ⅰ（文書の読解と作成）	新1、2、全	単位数	2単位	学年配当 1～
		担当教員	新川綾子、黒川由佳		
テーマ 大学生がA4用紙1～2枚程度の論理的な文書を読解する場合と作成する場合に必要なことがらを学ぶ。 科目のねらい 大学生がA4用紙1～2枚程度の論理的な文書を読解する場合と作成する場合に必要なことがらを理解する。論理的な文書には、正しい文法に基づいていること、適切な語彙を利用すること、適切な推論の方法を利用していること、主張と根拠を明確に示していること、できるかぎり確かな根拠を示していること、等が必要である。					

テキスト科目	学びの技法Ⅱ（文書作成演習）【クラス制】	単位数	1単位	学年配当	2～
		担当教員	新川綾子、黒川由佳、田中邦彦		
テーマ					
A4用紙1～2枚程度の論理的文書（小論文、レポート等）の読解と作成の能力を、問題の演習と「添削指導」を通じて学ぶ。					
科目のねらい					
A4用紙1～2枚程度の論理的文書（小論文、レポート等）の読解と作成の能力を、問題の演習と「添削指導」を通じて修得できるようにする。この「添削指導」とは、【nfu.jp】上で提示される添削課題（レポート）に対し、決められた文字数で解答したレポートを提出し、【nfu.jp】上で教員から添削指導を受けるものである。「学びの技法Ⅰ（文書の読解と作成）」で学んだ文書作成のルール等に基づき、適切な文章の表現や展開等を学ぶことができる。 「学びの技法Ⅰ（文書の読解と作成）」の発展科目のため、同科目の単位修得者が履修できる科目とする。					

テキスト科目	経済学	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	上田和宏、鈴木健司		
テーマ					
家計、企業、銀行、政府などのさまざまな経済活動がどのようにに関わり合い、どのような経済状況が生み出されるのかについて学ぶ。					
科目のねらい					
私たちの社会では、家計、企業、銀行、政府などの組織がさまざまな経済活動を自国の中だけでなく、外国の間で行っている。経済について勉強するにあたり、そうした活動がどのようにに関わり合い、結果としてどのような経済状況が生み出されるのかについて考えることが重要である。本科目では、そのために必要な経済学の基礎的な理論を学び、理論的に考える練習を行う。同時に、現実の経済についての理解を深めるため、日本経済の姿についても考えてゆく。					

テキスト科目	経営学	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	柳 在相		
テーマ					
経営学の発展とマネジメント理論を体系的に学ぶ					
科目のねらい					
経営学の基礎を理解するためには、マネジメントという視点にたって、経営目標の達成に向けた効率的なマネジメントのプロセスを理解するとともに、変貌する経営環境に適応していくプロセスについても理解することが求められる。経営環境の変化と組織の存続、戦略計画の企画と実行、人と組織のマネジメント、イノベーションといった経営学の中心課題について学習する。そのうえで、これからの企業経営をはじめ、ヘルスケア産業やビジネスの展開、医療・福祉や非営利組織、行政組織などにおけるマネジメントの問題を検討していくように努める。					

テキスト科目	簿記	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	新谷 司		
テーマ					
仕訳例や設例を利用して簿記知識の効率的習得を目指す。					
科目のねらい					
簿記とは、企業の経営活動を計数的に記録し、それを集計して企業の経営成績や財政状態を知るための計算処理技術である。最初に、簿記の基本的仕組みを理解する。次いで、小規模の株式会社における期中取引の仕訳と一連の決算整理事項の仕訳について習得する。仕訳例や設例を利用して簿記知識の効率的習得を目指す。					

テキスト科目	マーケティング	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	小木紀親		
テーマ					
マーケティング理論を習得するとともに、市場における競争及び差別化の概念と、実際かつ今日的な企業等のマーケティング戦略の仕組みを多面的に学んでいく					
科目のねらい					
本講義の目的は、マーケティング理論を習得するとともに、市場における競争及び差別化の概念と、実際かつ今日的な企業等のマーケティング戦略の仕組みを多面的に理解していくことにある。具体的には、マーケティング戦略の4つの軸（製品戦略、価格戦略、流通チャネル戦略、プロモーション戦略）を中心として、今日的な企業及びその他の組織のマーケティング活動や市場における多様なマーケティング現象を理解・考察し、それらを通じてマーケティングの基礎と応用を学んでいきたい。添削課題などを活用してフィードバックを行っていきたい。					

テキスト科目	財務会計	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	新谷 司		
テーマ					
財務会計では、主要な財務諸表の様式と内容について学習する。					
科目のねらい					
財務会計は、会計基準や会計慣行に規制され、企業の財政状態や経営成績に関する情報を作成し外部の利害関係者に報告することを意味する。財務諸表の様式、棚卸資産会計、固定資産会計、有価証券会計、引当金会計、負債会計、純資産会計、資産の評価基準、費用・収益の認識基準、連結財務諸表などを取り上げる。					

テキスト科目	管理会計	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	内野一樹		
テーマ 管理会計の概念や歴史を学ぶことを通して、経営管理者の意思決定や業績管理に役立つ会計情報システムの設計・運用について理解を深める。あわせて、これまで大企業を対象としてきた管理会計を病院、福祉施設、文化団体等の非営利組織にも導入することが重要になっているのかを理解する。 科目のねらい 管理会計は、企業などの営利組織の内部で、戦略や計画の策定、経営管理者の目標設定と実績評価に役立つ情報を提供してきたが、今日では病院、福祉施設、文化団体等の非営利組織でも導入が進んでいる。本講は、4つの単元から構成される。 単元Ⅰ 管理会計の基礎（第1～3講）では、本講の管理会計のフレームワークについて明らかにする。そこでは、管理会計の基本体系、原価計算との関係、経営組織との関係が取り上げられる。 単元Ⅱ 業績管理のための管理会計（第4～7講）では、利益管理に焦点が当てられる。利益管理は、企業が存続していくのに必要な利益を獲得するために、計画を設定し、その結果を統制するという2つの側面が含まれている。そこでは、伝統的な原価管理、在庫管理、予算管理、短期利益計画が取り上げられる。 単元Ⅲ 意思決定会計のための管理会計（第9～11講）では、経営管理者の意思決定に焦点が当てられる。経営管理者の意思決定は、企業の将来に進むべき方向を決めることであり、関連する情報を集めて、分析し、評価を下さなければならない。そこでは、業務（執行）的意思決定、戦略的意思決定、経営戦略への道筋の可視化が取り上げられる。 単元Ⅳ 管理会計の展開（第12～14講）では、新しい動向について各論的に明らかにする。いずれも従来の管理会計上の問題を克服するために提唱されたものである。そこでは、活動基準原価計算、原価企画、ライフサイクル・コストリング、品質原価計算が取り上げられる。					
テキスト科目	労働法	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	渋谷典子		
テーマ 働くうえで必要な労働法の基本的知識を習得するとともに、当事者として、さまざまな労働問題について考える。 科目のねらい 産業構造の変化、経済のグローバル化、急速に進む少子高齢化に伴う労働力の減少等、労働者の置かれる環境は常に変化を繰り返している。労働法もその変化に対応すべく、その姿を変容させている。労働基準法は制定後に何度も改正を繰り返し、男女雇用機会均等法や労働者派遣法の大幅な改正がなされ、労働契約法も制定された。そして、2018年には「働き方改革関連法」が成立した。この変化し続ける労働法の「今」に向き合い、「今」につながるプロセスを学ぶことがこの講義の目的である。そして、「今」は、「未来」へつながり、その「未来」における労働法の変容も思い描くことができるはずである。これまで蓄積されてきた労働法の判例と学説について学び、労働法の基本的な知識と考え方を学ぶ場として、本講義を活かしていただきたい。					
テキスト科目	経営組織と戦略	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	張 淑梅		
テーマ 組織とは何か、優れた組織の動き方、特徴を、組織論と経営戦略論の視点から学ぶ 科目のねらい 本テキストは、組織とは何か、優れた組織の動き方、特徴を、組織論と経営戦略論の視点から学ぶことを目的とする。まず現代社会の基礎的構成要素としての組織の行動や構造、変化のメカニズムを説明する。次に組織を環境との相互作用をもつオープンシステムと認識し、激動する環境の変化に対応するための経営戦略、組織変革、さらに情報革命のもとで展開されつつある新しい組織と戦略について事例を交えて論じていく。					
テキスト科目	ベンチャー経営	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	柳 在相		
テーマ ベンチャー企業の経営（戦略的発想および起業家精神、緻密な事業計画と事業仕組の構築、競争優位の確立、組織文化の形成など）についての理解を深める。 科目のねらい 日本におけるベンチャー企業を取り巻く経営環境に着目し、とりわけアメリカとの比較を通して、いかにしてより多くのニュービジネスを生み出すかについての議論を展開する。そして、セコムなどのような目覚ましい成長をおさめているベンチャー企業に焦点をあて、その創業から今までの成長プロセスを詳細に考察していく。これらのベンチャー企業の成長プロセスにはどのような阻害要因が存在し、それぞれの阻害要因をいかにして克服することができたかに注目することによって、ベンチャー企業の経営（企業家精神及び戦略的発想、事業仕組の構築、競争優位の確立、組織文化の形成など）についての理解を深めるように努める。					
テキスト科目	人的資源管理	単位数	4単位	学年配当	1～
		担当教員	飛田正之		
テーマ 企業、職場でどのような人材管理が行われているかを、さまざまな調査をもとに考察する。 科目のねらい 企業の経営活動に必要な「ヒト」、つまり人的資源の管理について学ぶ。企業におけるさまざまな人的資源管理の制度、労働や雇用に関する実態を理解する。さらには、実際に企業、職場ではどのような人材の管理が行われているのかを、さまざまな調査をもとに考察を深めていく。					
テキスト科目	医療経済学	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	大内講一		
テーマ 医療サービスが国民皆保険体制のもとで「効率的」かつ「公正」に提供されるための諸条件を考察する。 科目のねらい 1980年代以降、公的支出を抑制するため患者負担が拡大されてきた。その一方で医療は成長戦略の中心に据えて景気浮揚を図ろうとする政策的主張もある。本科目では、医療費の規模と負担構造、医療の経済効果を理解し、「持続可能な国民皆保険」を考察する。					

テキスト科目	非営利マーケティング論	単位数	4単位	学年配当	1～	
		担当教員	井上崇通			
テーマ 非営利組織に一般企業のマーケティングの戦略および手法の視点を取り入れ、各非営利組織独自のマネジメント活動に役立てる 科目のねらい 非営利マーケティングとは、主として非営利組織に一般企業のマーケティングの戦略および手法の視点を取り入れ、各非営利組織独自のマネジメント活動に役立てることを意図するものである。しかし、非営利組織は一般企業とは当然異なるものであり、非営利組織のなかでもその特性などによりマーケティングの戦略および手法の取り扱いとは異なる。特に、講義では、そうした点に鑑み、各非営利組織の分類から始め、各々に適するマーケティングの戦略および手法、非営利組織を巡る動向を論じていく。						
テキスト科目	ファイナンシャルプランニング総論	必修 A	単位数	1単位	学年配当	1～
		担当教員	安藤朋子			
テーマ FP（ファイナンシャルプランニング）とは何か、FPの歴史と現状や社会的役割、手法と知識、諸領域、コンプライアンス等を学ぶ。 科目のねらい FP（ファイナンシャルプランニング）とは何か、FPの歴史と現状や社会的役割、手法と知識、諸領域、コンプライアンス等を学ぶ。また、ファイナンシャルプランナーの業務内容や進路、具体的なスキルの身に付け方についても学習する。FPの技術を活かせる業界やそれを取り巻く環境を知ることにより、ファイナンシャルプランナーとしてのキャリアイメージを明確にする。						
テキスト科目	金融資産運用設計	A	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	栗本修己			
テーマ 経済・金融動向の見方、預貯金、債券、株式、投資信託、デリバティブなどの商品知識とともに、預金保険制度や金融サービス提供法などのセーフティネット、少額投資非課税投資（NISA）、ポートフォリオの組み方を学び、金融資産の管理運用法を習得する。 科目のねらい 個人のライフプランを実現するためには、財政上の裏づけとして資金が必要になる。必要な資金は具体的な金融商品で管理・運用する必要があるが、そのためには商品を選択するための周辺知識が必須となる。そこで、経済・金融動向の見方、預貯金、債券、株式、投資信託、デリバティブなどの商品知識とともに、預金保険制度や金融サービス提供法などのセーフティネット、少額投資非課税投資（NISA）、ポートフォリオの組み方を学び、金融資産の管理運用法を習得する。						
テキスト科目	不動産運用設計	A	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	安藤朋子			
テーマ 不動産について、売買、貸借、所有、活用、投資など様々な場面で必要となる広範囲な知識を学習する。 科目のねらい 不動産は、生活の本拠として、あるいは資産として、ライフプラン上の重要な位置を占める。この科目では、不動産について、売買、貸借、所有、活用、投資など様々な場面で必要となる広範囲な知識を学習する。具体的には全体を3つの領域に分け、まず不動産の見方と不動産に関わる様々な法律の規定を次いで不動産に関わる税金の種類と内容、不動産投資・有効活用の手法を学び、生活者が不動産と上手につきあっているための実用知識を習得する。						
テキスト科目	ライフプランニングと資金計画	A	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	栗本修己			
テーマ ライフプランニングの考え方、家計のキャッシュフロー分析手法に始まり、ライフプラン上の重要テーマである住宅資金設計、教育資金設計等について学び、労働保険、医療保険、公的年金という各種の社会保障制度の仕組みを理解し、老後の資金設計の考え方を習得する。 科目のねらい ファイナンシャルプランニングの中心的な科目である。学習領域は大きくライフプランニングとリタイアメントプランニングに分かれる。前者では、ライフプランニングの考え方、家計のキャッシュフロー分析手法に始まり、ライフプラン上の重要テーマである住宅資金設計、教育資金設計等について学ぶ。後者では、労働保険、医療保険、公的年金という各種の社会保障制度の仕組みを理解し、老後の資金設計の考え方を習得する。						
テキスト科目	リスク管理と保険	A	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	加藤恵子			
テーマ リスクマネジメントの考え方、保険制度、生命保険と損害保険の仕組み、それぞれの分野の具体的な商品の種類と内容を学び、保険を活用したリスクマネジメントの手法を習得する。 科目のねらい 現代社会におけるリスクには様々なものがある。ファイナンシャルプランニングにおいては、それらのリスクに対して保険という手段を用いてリスクを移転するという保障・補償設計が必要となる。この科目では、その観点から、リスクマネジメントの考え方、保険制度、生命保険と損害保険の仕組み、それぞれの分野の具体的な商品の種類と内容を学び、保険を活用したリスクマネジメントの手法を習得する。						

テキスト科目	タックスプランニング	A	単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	安藤朋子		
テーマ わが国の税制を体系的に理解し、なかでも個人のライフプランニングに欠かせない所得税を中心に、個人住民税、個人事業税、法人税、法人住民税、法人事業税、消費税等を学ぶ。 科目のねらい ファイナンシャルプランニングにとって、可処分所得を把握する上で税の知識は欠かすことができない。初めにわが国の税制を体系的に理解し、なかでも個人のライフプランニングに欠かせない所得税を中心に、個人住民税、個人事業税、法人税、法人住民税、法人事業税、消費税等を学ぶ。特に所得税についての知識は重要であるため、その仕組みから、税額計算、申告納付までを体系的に学び、最終的には具体的な税額計算ができるようになるまで理解を深める。						
テキスト科目	相続・事業承継設計	A	単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	佐藤正明		
テーマ ライフプランの終着点である相続時における遺産分割と、それに伴う税務上の取り扱いを学習する。 科目のねらい ライフプランの終着点である相続時における遺産分割と、それに伴う税務上の取り扱いを学習する。相続はすべての人に共通のライフイベントであるが、知識不足からトラブルになることが少なくない。そこで、まず相続人の範囲と相続分、相続を放棄する場合の手続き、遺言の作成方法、民法の知識などを学習する。これを踏まえて、遺産額が一定規模以上になると相続税が課税され、相続税対策が重要なテーマとなるため、相続税の基本的な仕組みを理解し、節税対策の考え方もあわせて学習する。						
テキスト科目	NPO 論		単位数	4単位	学年配当	1～
			担当教員	雨森孝悦		
テーマ 市民社会組織としてのNPOについて、基礎的な知識を得ることを目的とする 科目のねらい この科目では、履修者が市民社会組織としてのNPOについて、基礎的な知識を得ることを目的とする。NPOは民間非営利組織の一種なので、民間非営利組織にどのような種類があり、それらの間にどのような違いや共通点があるのかわかるようにする。しかしそれに止まらず、NPOがなぜ存在するのか、実際にその運営に関わるときにどういった問題に遭遇し、どう対処すべきかについての具体的な方法についても考えてもらう。						
テキスト科目	国際開発		単位数	4単位	学年配当	1～
			担当教員	雨森孝悦		
テーマ 開発途上国における貧困緩和、環境保全、平和構築などを通じて、開発の主人公たる一人ひとりの人間の生活を豊かで安全なものにし、能力の向上が図られるような開発のあり方について学習する。 科目のねらい この科目は、開発途上国における貧困緩和、環境保全、平和構築などを通じて、開発の主人公たる一人ひとりの人間の生活を豊かで安全なものにし、能力の向上が図られるような開発のあり方について学習するのが目的である。一言でいえば、途上国における社会開発の概論である。						
テキスト科目	災害復興のための制度と法		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	岡本 正		
テーマ 被災後に想定される課題の具体例、その課題を解決するために設けられている被災者支援のための制度やしくみ、その根拠となる法律について学ぶ 科目のねらい 災害時に被災者が抱える課題は、食料、物資、医療等のニーズだけにとどまらない。これまでの日常生活が突如として脅かされ、生活を再建していくうえでありとあらゆる悩みが一挙に押し寄せる。住まい、仕事、家庭などのあらゆる場面で、お金とくらしに関わる課題が多数浮かび上がる。それらを解決していくためには、被災者への経済的かつ精神的な支援や寄り添い活動が必要とされる。まずは希望をもって、一步を踏み出したり、他の機関や士業と連携して支援をするきっかけをつくっていくことが何よりも重要になる。すなわち、被災者に対して専門家が果たすことができる役割とは、被災者に有益で役立つ生活再建や支援の情報を整理して提供することから始まる。そして、個別の課題に応じて、情報提供をし、支援制度の活用や手続きに誘導し、他の専門士業へのつなぎを行い、あるいは協働していくことで、被災者の生活再建の達成を目指すことになる。このような災害時における支援活動は、ソーシャルワークそのものであり（災害ソーシャルワーク）、ソーシャルワーカーにとって重要な役割となる。本科目では、まず、被災後に被災者が抱える悩みを具体的な事例とともに概観し、その課題を解決するために設けられている支援制度やしくみ、その根拠となる法律について基本的かつ実践的な知識を学んでいく。そのうえで、災害後の生活や被災者を支えるために、ソーシャルワーカーとしてどのように活動できるかや、他の領域の専門家との連携やコーディネーターとしていかなる役割を果たすことができるのか等についても学びを深める。						
テキスト科目	環境論		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	斎藤千宏		
テーマ 環境の身近なテーマから地球規模の課題まで幅広く学ぶ 科目のねらい 今世紀半ば（2050年代）には地球上から食料不足や飢餓といった問題は解決するだろうとされている。他方で、今世紀末になっても解決が困難とされるのが民族対立であり、またジェンダーの問題、そして温暖化に代表される地球レベルの環境問題である。今日を生きる我々にとって基本中の基本の学習課題が「環境問題」であるといつて過言ではなかろう。本科目では、入門レベルとして、環境の身近なテーマから地球規模の課題まで幅広く学んでいく。						

テキスト科目	精神医学からみたアディクション	単位数	2単位	学年配当	1～	
		担当教員	常岡俊昭			
テーマ 「アディクション治療」の実態を知り、持続可能な介入方法を模索していく 科目のねらい 精神医学において「アディクション治療」はここ数年で革命が起きている。底つき体験が必須と言われたアルコール依存症治療にも、早期発見・早期介入の必要性が指摘されている。処方薬依存・市販薬依存の問題は、薬物依存症を司法の範疇と考えることを不可能にした。ギャンブル障害など精神医学の重箱の隅でほとんど誰も認識していなかった疾患が、IR 法案によってアルコールや薬物とならぶ依存症として治療の必要性が広まった。また、これらのアディクション問題には、うつ病・統合失調症・発達障害など多くの一般精神科が対象としてきた疾患が合併することが明らかになってきた。これら「依存症／アディクション」の治療対象の変化・広がりは、今まで専門病院だけで人知れず行われていた依存症治療を、一般精神科病院でも最低限は行わざるを得ないものへと変化させた。また SBIRTS（エスバーツ：Screening：飲酒スクリーニングテスト、Brief Intervention：簡易介入、Referral Treatment：専門医療機関、Self-help group 自助グループ）に代表される医療機関と自助グループの連携の必要性も再度指摘されている。一方で、すべての医師・病院が革命に対応できているわけではなく、対応できるか否かは医師や PSW など個人の動きに頼っている部分も大きい。本講義の目的は、専門病院でない精神科病院であっても、地域資源が不足している地域であっても、その場その場で持続可能なアディクションへの最低限の介入方法を自ら模索・構築できる能力を育成することにある。						
テキスト科目	福祉文化論	単位数	2単位	学年配当	1～	
		担当教員	新川綾子			
テーマ 近現代日本における社会福祉の歴史について知り、今日の社会福祉がどのように形成されてきたのかを理解する 科目のねらい 本科目は、近代日本の福祉制度・文化の歴史の変遷について学ぶ科目です。対象とする時期は、18 世紀から現在までです。近代から現代までに、日本の「福祉」がどのような過程を経て形成されてきたのか、その当時に生きる人びとはどのような文化・生活を送っていて、どのような生活課題を抱えていたのか、そうした課題に人びとはどのように立ち向かったのかを学んでいきます。政策の位相、専門職の位相、人びとの生活の位相など、複眼的な視野から歴史をみつめ、現在に至る「福祉」の本質を探り、将来的な「福祉」のあり方を展望していくことを目指します。						
テキスト科目	健康格差社会	単位数	2単位	学年配当	1～	
		担当教員	近藤克則			
テーマ 日本にどの程度の「健康格差」が見られるのか、なぜ健康格差が生まれるのか、その背景や原因、健康により環境をつくる「ゼロ次予防」、そのための方法などについて考える。 科目のねらい 本講義では、「健康長寿」に影響する社会的要因の解明に取り組む「社会疫学（social epidemiology）」が明らかにしてきたことを元に、私たちの健康・幸福（well－being）がどのような要因によって決まるのかを考える。日本にどの程度の「健康格差」が見られるのか、なぜ健康格差が生まれるのか、その背景や原因、健康により環境をつくる「ゼロ次予防」、そのための方法などについて考える。						
テキスト科目	医療福祉経営論	単位数	4単位	学年配当	1～	
		担当教員	井尾公治			
テーマ 医療福祉経営の基本的視座を学ぶ 科目のねらい 医療福祉施設の経営は企業の経営理論をそのまま当てはめようとしても困難である。その理由は医療福祉サービスの持つ専門性や公共性という特性、サービスを提供する専門職の自律性、組織が専門職組織であること、事業が制度や政策に大きく依存することなどがあげられる。本講ではこれらを踏まえて医療福祉経営の基本的視座を提供しようとする。						
テキスト科目	医療政策論	単位数	4単位	学年配当	1～	
		担当教員	李 忻			
テーマ 医療政策の展開と今後の課題・方向について学んでいく 科目のねらい 日本の医療制度は超高齢社会を迎えて、大きな転換期にある。「いつでも、どこでも、誰でもが安心して医療をうけられる」という目標の実現が、高齢化と低成長経済の下で困難となっているからである。医療サービス自体もかつての感染症時代から成人病・生活習慣病へと推移する中で、公平と効率の観点から医療制度に関わる「人」「物」「金」「情報」のすべてにおいて、その改革が迫られている。臓器移植や未承認新薬等に象徴される高度先進医療への大きな期待とともに、高齢者の長期ケアのための医療と福祉を接合した介護保険制度の創設と普及など、患者の自己決定や QOL（生活の質）の向上などの新しい動きをふまえて、医療政策のあり方は国民の健康の維持と増進に大きく影響している。本講義では、医療政策の展開と今後の課題・方向について学んでいく。						
テキスト科目	医療・福祉サービス論	必修	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	近藤克則			
テーマ 医療福祉サービスのあり方やその質を高める方法、それらを考える上で必要な基礎知識を学ぶ 科目のねらい 本講義では、医療福祉サービスのあり方やその質を高める方法、それらを考える上で必要な基礎知識を学ぶ。健康に関連する QOL（Quality Of Life、生活・人生の質）や、国際生活機能分類（ICF）、ケアマネジメント、チームマネジメント、福祉事業者、政策レベルまで取り上げる。これらすべてにおいてマネジメントの考え方が有用であること、一方で医療福祉における特異性を学ぶ。						

テキスト科目	シルバーファイナンス		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	中島史博		
テーマ 高齢者に必要な金融の知識やそれに関連する税金、医療、保険、年金などの知識をトータルで身に着ける 科目のねらい シルバーファイナンスという言葉は聞きなれない単語であろう。直訳すると、「歳寄りの財政」とでもなろうが、ここでは「高齢者に必要な金融の知識やそれに関連する税金、医療、保険、年金などの知識をトータルで身に着ける科目」と規定したい。「人生は有料道路」という言葉もあるが、生きている限り散財は避けられない。如何に上手に節約するかも課題の一つである。節約と吝嗇は違う。本科目で堂々と、そして楽しく節約することを学んでほしい。						
テキスト科目	高齢者の心理	心	単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	山口智子		
テーマ 高齢者の心理について学ぶ 科目のねらい 急速な高齢化が進み、高齢者の心理への関心が高まっている。また、高齢者支援において、高齢者個々人のニーズにこたえるためには、支援が必要となる問題の理解だけでなく、高齢者の性格、言動、経歴、家族関係などを含めた個人理解が必要である。この科目では、①高齢者の心理を理解する視点を学び、②加齢によるさまざまな心理機能の変化を理解すること、③老年期におこりやすい心理的問題を理解すること、④高齢者に対する心理的援助方法を考えることを目標とする。						
テキスト科目	産業組織心理学	心	単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	山口智子		
テーマ 対人援助職の領域に焦点を当てて、働く人びとのストレス、キャリア、メンタルヘルス不調、メンタルヘルス対策などについて考察する。 科目のねらい 超高齢社会となった現代、「働く」とはどのような営みであろうか。長寿化、価値観の多様化、情報化、グローバル化などが進むなかで、働く人びとをめぐって過重なストレス、うつ、休職、過労死などさまざまな問題が生じている。また、高齢化に伴い、介護、看護のニーズが増大しているが、介護職や看護職として働く人びとの心身の不調や人材不足が社会問題となっている。さらに、対人援助職は、組織の中で、メンタルヘルス対策の企画立案や推進の役割を担うことが求められることもある。そこで、本講義では、特に、対人援助職の領域に焦点を当てて、働く人びとのストレス、キャリア、メンタルヘルス不調、メンタルヘルス対策などについて考えたい。						
テキスト科目	精神医学と精神医療 【KAのみ】	精	単位数	4単位	学年配当	2～
			担当教員	尾関祐二、藤井久彌子		
テーマ 精神疾患について正しく知り、チーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を理解する 科目のねらい このテキスト科目は『精神医学と精神医療（精神保健福祉士養成講座1）』（日本ソーシャルワーク教育学校連盟編）中央法規出版、をもとに、下記の事項について学んでいく。 ①精神疾患総論 ②代表的な精神疾患 ③精神疾患の治療 ④精神科医療機関における治療の実態 ⑤精神医療と保健、福祉の連携 ⑥精神医療の動向						
テキスト科目	精神保健学 【KAのみ】	精	単位数	4単位	学年配当	KV1～、KA2～
			担当教員	足立孝子		
テーマ こころの健康と維持・増進のあり方を明らかにする 科目のねらい 健康の定義、すなわち精神的な健康とは、精神疾患が存在しない以上の事柄であるということを理解する。さらに、精神保健は、社会経済的および環境要因、行動（依存・暴力など）によって左右されることを明らかにする。それらを踏まえて、精神保健はどのように強化されるべきか考える。また、精神障害を抱えた人が地域で安心して自立した生活（ウェルビーイング）を促進するために、精神保健福祉士が担うべき役割について学習する。						

スクーリング開講日程および開講地（予定）

（2025.1 現在）

開講日	開講科目	担当教員	会場	開講都市
5/17(土)～ 5/18(日)	児童虐待と社会的養護Ⅰ	河尻 恵	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	東京
	認知症ケアと多職種連携 精神障害者と福祉実践Ⅰ	中島民恵子 青木聖久	明治安田ホール名古屋 新大阪丸ビル別館	名古屋 大阪
5/18(日)	地域活動実践演習	前山憲一	Zoom	オンライン
5/24(土)～ 5/25(日)	福祉とテクノロジー活用	巖淵 守	ビジョンセンター東京京橋	東京
	多様なニーズに応える特別支援教育 論文・レポート作成基礎Ⅰ	小野尚香 中島民恵子	明治安田ホール名古屋 Zoom	名古屋 オンライン
5/31(土)	フォローアップセッションⅠ（効果的な学び）	教員（学習指導）	新大阪丸ビル別館	大阪
5/31(土)～ 6/ 1(日)	単身世帯と社会政策 論文・レポート作成基礎Ⅰ	藤森克彦 新谷 司	ビジョンセンター東京京橋 Zoom	東京 オンライン
6/21(土)	フォローアップセッションⅠ（効果的な学び）	教員（学習指導）	明治安田ホール名古屋	名古屋
6/21(土)～ 6/22(日)	社会保障の制度と課題	李 忻	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	東京
	多職種連携実践(IPW)と多職種連携教育(IPE)の展開 医療福祉サービス組織の人材マネジメント	上山崎悦代 岩田 純	福岡県中小企業振興センター Zoom	福岡 オンライン
6/28(土)～ 6/29(日)	児童虐待と社会的養護Ⅱ	河尻 恵	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	東京
	認知症の人と地域包括ケア ソーシャルワークと専門職	中島民恵子 田中和彦/澤田佳代	ウイंकあいち 新大阪丸ビル別館	名古屋 大阪
7/ 5(土)	フォローアップセッションⅠ（効果的な学び）	教員（学習指導）	Zoom	オンライン
7/ 5(土)～ 7/ 6(日)	ソーシャルワークと専門職 スクールソーシャルワークと学校現場	片岡志保/神田歩 安藤健一	ビジョンセンター東京京橋 明治安田ホール名古屋	東京 名古屋
	基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	小野尚香	Zoom	オンライン
7/12(土)	フォローアップセッションⅠ（効果的な学び）	教員（学習指導）	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	東京
7/12(土)～ 7/13(日)	エンドオブライフとソーシャルワーク 地域福祉と災害ソーシャルワーク	杉本浩章 山本克彦	ACU-A 金沢商工会議所	札幌 金沢
	認知症ケアと多職種連携	中島民恵子	Zoom	オンライン
7/19(土)～ 7/20(日)	社会福祉法人のマネジメントと会計 多職種連携実践(IPW)と多職種連携教育(IPE)の展開	新谷 司 上山崎悦代	タワー111 アクトシティ浜松	富山 浜松
	ソーシャルワークと専門職 ソーシャルワークと専門職	明星智美/真砂里衣子 安藤健一/岡田衣津子	TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口 Zoom	名古屋 オンライン
7/26(土)～ 7/27(日)	子どもの福祉と戦争 精神障害者と福祉実践Ⅱ	片岡志保 田中和彦	明治安田ホール名古屋 新大阪丸ビル別館	名古屋 大阪
	社会保障の制度と課題 ソーシャルワークと専門職	李 忻 鷲野明美/中村将洋	福岡県中小企業振興センター Zoom	福岡 オンライン
8/23(土)～ 8/24(日)	地域福祉と災害ソーシャルワーク	山本克彦	ビジョンセンター東京京橋	東京
8/30(土)	フォローアップセッションⅡ（実践的な学び）	教員（学習指導）	Zoom	オンライン
8/30(土)～ 8/31(日)	社会福祉と権利擁護 児童虐待と社会的養護Ⅰ	明星智美 河尻 恵	天満研修センター 福岡県中小企業振興センター	大阪 福岡
	社会福祉法人のマネジメントと会計	新谷 司	Zoom	オンライン
9/ 6(土)～ 9/ 7(日)	ユニバーサルデザインと暮らし 多様なニーズに応える特別支援教育	星川安之/森川美和 小野尚香	長野ターミナル会館 Zoom	長野 オンライン
	医療福祉サービス組織の人材マネジメント	岩田 純	新大阪丸ビル別館	大阪
9/13(土)～ 9/14(日)	児童虐待と社会的養護Ⅰ	河尻 恵	沖縄県市町村自治会館	沖縄
	論文・レポート作成基礎Ⅱ 司法と福祉の連携とソーシャルワーク	新谷 司 鷲野明美	Zoom Zoom	オンライン オンライン
9/20(土)～ 9/21(日)	社会福祉政策国際比較 多様なニーズに応える特別支援教育	藤森克彦 小野尚香	新大阪丸ビル別館 神戸ファッションマート	大阪 神戸
	福祉現場の人材養成 論文・レポート作成基礎Ⅱ	綿 祐二 新谷 司	広島国際会議場 Zoom	広島 オンライン
9/27(土)	フォローアップセッションⅡ（実践的な学び）	教員（学習指導）	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	東京
9/27(土)～ 9/28(日)	児童虐待と社会的養護Ⅱ	河尻 恵	TKPガーデンシティPREMIUM横浜西口	横浜
9/28(日)	障害者スポーツ研究	荒賀博志	美浜キャンパス	美浜
10/ 4(土)～10/ 5(日)	障害者政策と自立支援 社会福祉政策国際比較	綿 祐二 藤森克彦	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル 明治安田ホール名古屋	東京 名古屋
	基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	小野尚香	新大阪丸ビル別館	大阪
10/11(土)～10/12(日)	精神障害者と福祉実践Ⅰ	青木聖久	明治安田ホール名古屋	名古屋
10/25(土)～10/26(日)	福祉マーケットと経営戦略	名内敏裕	新大阪丸ビル別館	大阪
10/25(土)～10/26(日)	児童虐待と社会的養護Ⅱ	河尻 恵	岡山国際交流センター	岡山
	フォローアップセッションⅡ（実践的な学び）	教員（学習指導）	Zoom	オンライン
11/ 1(土)～11/ 2(日)	司法と福祉の連携とソーシャルワーク	鷲野明美	ビジョンセンター東京京橋	東京
	医療福祉制度と暮らし 精神障害者と福祉実践Ⅱ	李 忻 田中和彦	新大阪丸ビル別館 Zoom	大阪 オンライン
11/22(土)～11/23(日)	医療福祉制度と暮らし 福祉現場の人材養成	李 忻 綿 祐二	TKPガーデンシティPREMIUM大宮 明治安田ホール名古屋	大宮 名古屋
	スクールソーシャルワークと学校現場 社会福祉と権利擁護	安藤健一 明星智美	香川県社会福祉総合センター Zoom	香川 オンライン
11/29(土)～11/30(日)	日本企業の経営・会計 福祉とテクノロジー活用	新谷 司 巖淵 守	ビジョンセンター東京京橋 福岡県中小企業振興センター	東京 福岡
12/ 6(土)	地域活動実践演習	前山憲一	Zoom	オンライン
12/ 6(土)～12/ 7(日)	ユニバーサルデザインと暮らし	星川安之/森川美和	ビジョンセンター東京京橋	東京
12/13(土)～12/14(日)	エンドオブライフとソーシャルワーク	杉本浩章	新大阪丸ビル別館	大阪
1/10(土)～ 1/11(日)	単身世帯と社会政策 基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	藤森克彦 小野尚香	Zoom 明治安田ホール名古屋	オンライン 名古屋
	精神・発達障害者の理解と共働	青木聖久	ウイंकあいち	名古屋
1/17(土)～ 1/18(日)	被災者支援と福祉防災に向けた実践演習	山本克彦/篠原辰二	ウイंकあいち	名古屋
	アディクションと生きる社会を考える	田中和彦	ウイंकあいち	名古屋

(注1) 科目等履修生は履修できません。

(注2) 特修生は履修できません。

(注3) 科目等履修生、特修生は履修できません。

※開講日が同じ科目は、いずれか1科目しか選択できません。

※スクーリング科目の科目修了試験は、原則としてスクーリング授業時間内に行います。

※各科目の担当教員、概要、日程、テーマ等については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※「地域活動実践演習」は5月と12月の両日程に参加する必要があります。

(4) スクーリング科目

スクーリング 科目	フォローアップセッションⅠ（効果的な学び）	単位数 担当教員	1単位 岩田 純、新川綾子、黒田由佳	学年配当	1～
テーマ 学習不安を軽減するために、春期科目修了試験以降の学習計画立案と「調べ学習」の方法を知る 科目のねらい 学習を進めるうえでわからないことを解決し、「どうやって学べばよいか」といった疑問を学友と学習指導教員と一緒に考える。学習のモチベーションアップと一緒に図ろう。					
スクーリング 科目	フォローアップセッションⅡ（実践的な学び）	単位数 担当教員	1単位 新川綾子、黒田由佳、岡田衣津子	学年配当	1～
テーマ 大学での学びとはなにかについて考え、大学生に必要な学びの基礎能力を身に付ける 科目のねらい 大学での効果的な学びの方法を学んだ「フォローアップセッションⅠ」に続き、本科目では大学での学びを進める際に必要不可欠である、情報収集、文書読解、作成、プレゼンテーション、議論の方法等の学びの基礎能力（スタディ・スキルズ）の習得をめざす。また、自分のどのような点に課題があるのか、それを乗り越えるためには具体的に何ができるかを考える。					
スクーリング 科目	ソーシャルワークと専門職	必修 単位数 担当教員	2単位 福祉経営学部（通信教育）教員	学年配当	1～
テーマ ソーシャルワークの専門職になりゆくとはーソーシャルワーク実践の扉を開く 科目のねらい 社会福祉の基礎を学ぶ科目として、ソーシャルワーク実践の基礎的理解、ソーシャルワーク専門職に求められる実践力や職責の理解を図る。ソーシャルワーク専門職の実践イメージや実践に対する社会的な期待をふまえ、受講生がソーシャルワークの専門職として、社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格取得をめざすかどうかの選択に資することを目的とする。					
スクーリング 科目	日本企業の経営・会計	単位数 担当教員	2単位 新谷 司	学年配当	1～
テーマ 会計の基礎知識を通じて、日本の大企業の経営と会計の特徴を理解する 科目のねらい 主な学習内容は2つある。第1は、企業の会計の基礎知識を学ぶことである。企業の会計や経営分析とは何か、特に貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書とは何か、連結財務諸表とは何かを学ぶ。第2は、日本の大企業の実例から、その経営・会計と労働・管理の特徴を学ぶことである。最初に個別財務諸表及び連結財務諸表の様式等を学び、実際に経営分析の方法により実際の大企業を分析する演習を行う。そして財務諸表や経営分析を利用して大企業の経営と会計の特徴を学ぶ。最後に日本の大企業の労働現場の調査を利用して、大企業の労働と管理の特徴を学ぶ。					
スクーリング 科目	社会福祉法人のマネジメントと会計	単位数 担当教員	2単位 新谷 司	学年配当	1～
テーマ 会計の基礎知識を通じて、社会福祉法人の経営及び経営改革の特徴を理解する 科目のねらい 学習内容は大きく2つに分かれる。第1の内容は、社会福祉法人の会計の基礎知識を学ぶことである。ここでは、社会福祉法人の会計や経営分析とは何か、特に貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書とは何かを学ぶ。加えて同計算書類を利用した経営分析の方法を学ぶ。第2の内容は、社会福祉法人の実例から、そこでの経営や経営改革の特徴を理解することである。ここでは、社会福祉法人制度や社会福祉事業者の実態、介護保険制度や介護保険事業者の経営の特徴について学ぶ。その後、特定の社会福祉法人の経営者または管理者から説明されるそれぞれの法人の経営や経営改革の特徴を学ぶ。各法人の歴史的経過、事業展開の状況、理念・経営方針、短期計画・中長期計画、経営管理システム等を学ぶ。					
スクーリング 科目	ケアマネジメント入門 ※隔年開講・2025年度休講	単位数 担当教員	2単位 綿 祐二	学年配当	1～
テーマ 「医療・福祉・介護現場の命題的理念と実践的理念の融合」のできる専門職を育てる～利用者の社会生活上のニーズを充足させるための学び～ 科目のねらい ケアマネジメントの基本理念や目的を理解し、相談援助職として利用者の社会生活を継続するための包括的な支援としてのケアマネジメントプロセスについて学ぶ。ケアマネジメントの展開は、一般的に①インテーク→②アセスメント（情報収集と生活課題の分析）→③プランニング（個別介護目標の設定と計画・立案）→④サービスの実施（ケア実践）→⑤モニタリング（中間評価）→⑥サービス評価→⑦再アセスメントのプロセスを経ていく。それぞれの段階においては、それを支える理論が基盤となっている。単にサービスを組み合わせるのではなく、利用者の生活が維持できるよう適切な社会資源を総体させていく。その理論の整理をおこない、実践現場におけるそれぞれのステージの課題を抽出することが学習目標である。また、自立支援、特にクライアントの意思決定支援の具体的方法、利用者ニーズのとらえ方、医療・福祉・介護現場の不適切ケア、権利擁護等について学ぶ。利用者主体性の原則から考えれば、フェルトニーズ（デマンド）を重視するが、専門的視点からのノーマティブニーズをどのように反映していくかが大きな課題でもある。例えば、食事場面の「経口」か「経管」か、「安全」か「拘束」か、「行動制限」と「自由」の違い、尊厳あるケア実践を改めて検討していく。実際の実践現場で起こる価値観の違いを理解して、どのように多職種連携によるチームアプローチを実践していくかなど、事例を通して議論を行っていく。					

スクーリング 科目	福祉現場の人材養成 ※隔年開講・2025 年度開講	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	綿 祐二		
テーマ 「福祉理念・理論と実践の融合」のできる福祉専門職を育てるためのキャリア形成および職場環境整備について学ぶ 科目のねらい 人材育成とは、長期的な視野に立ち、個人の成長を促進するため、必要なことを習得できる環境を与え、整えることである。福祉現場という組織において、将来的に不足する知識・技術の獲得し、福祉専門職としての適性のある人材の育成、組織の目的に貢献していく能力を開発することが重要である。福祉経営における人材育成という観点でみれば、社会保障制度が目まぐるしく変わり、1990 年代の社会福祉基礎構造改革以降、大きく変化した。措置から契約へ移行した福祉現場におけるキャリア形成をキャリア理論も含めて幅広く議論していく。福祉現場は、多くの専門職がチームで利用者のケアや支援に携わる。それぞれの専門職の役割や多職種連携の具体的方法、リスクマネジメント、キャリアパスシステムの構築、福祉現場における人事考課システムの在り方、福祉現場の働き方改革、採用・評価・人材育成・報酬・労使関係など、具体的な人材マネジメントのあり方などをグループワークのディスカッションを通して学んでいく。先駆的な人材マネジメントを展開している福祉施設の事例なども紹介していく。					
スクーリング 科目	ユニバーサルデザインと暮らし	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	森川美和、星川安之		
テーマ 身近なところに存在するユニバーサルデザイン（高齢者・障害のある人も使いやすい製品やサービス、施設「共用品」ともいう）を知り共生社会の実現との関係性を学習する 科目のねらい 私たちの暮らしの中に、「ユニバーサルデザイン」という言葉が浸透し、最近各分野において、ユニバーサルデザインの視点からの設計や基準の見直しが活発になってきている。一方、社会は国連が提唱する SDGs の 17 の目標を、「誰ひとりとり残さない」で、共生社会への舵が切られている。しかし、福祉分野では、その考え方が大切で、かつ応用できる工夫や製品が数多くあるにも関わらず、見過がれてしまっているケースがある。ユニバーサルデザインおよび関連する概念を学ぶとともに、ユニバーサルデザインが人々の暮らしと共生社会の実現に向けて与える効果・意義について考える。					
スクーリング 科目	福祉とテクノロジー活用	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	巖淵 守		
テーマ 障害のある人や高齢の人に対するテクノロジー活用とコミュニケーション支援について学ぶ 科目のねらい ・障害のある人や高齢の人に対するコミュニケーション及び社会とのつながりの確保の重要性を学ぶ。 ・障害のある人や高齢の人の QOL 向上として、本人の自己決定や自己選択を引き出すためのコミュニケーション支援、およびその技法となる AAC について学ぶ。 ・AAC とは、Augmentative & Alternative Communication の略であり、拡大・代替コミュニケーションを意味する。 ・多様なコミュニケーションを実現する手段、および生活支援のツールとしてのテクノロジーの有効性について学ぶ。 ・現代社会における困難の解決や軽減にテクノロジーがいかに役立ちうるかを確認し、AT の意義と活用法について理解する。 ・AT とは、Assistive Technology の略であり、障害のある人の生活を支えるために利用される技術を指す。 ・特に身の回りにある情報技術や電子技術をベースとした機器を中心に、障害のある人や高齢の人に対する各テクノロジーの活用法と工夫について考える。					
スクーリング 科目	福祉マーケットと経営戦略	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	名内敏裕		
テーマ 制度・制度の狭間・制度外の福祉分野のニーズや課題を「経営」の視点でみる力を養う 科目のねらい 福祉事業においても、経営環境は刻々と変化しています。 少子高齢化の日本の労働市場においては深刻な人材不足に直面し、また福祉マーケットの市場規模拡大を見越して、他業種からの参入により競合相手が増加し、こうした状況に対応・適応し進化していく必要があります。 この講義を通じて、学生の皆さんには福祉サービスにおけるマネジメントと経営戦略について学んでいただきます。福祉サービスとマーケットの特性・役割を知り、価値あるサービスを提供するための経営戦略の理解を深めてもらえるよう、自社（自事業所）の経営をデザインしていただきます。 また、福祉サービス関連の経営実践に携わる講師をお招きし、講義を通じて自社（自事業所）の経営・運営に役立つ手がかりを得ていただければと思います。 この講義では、教えてもらうというよりも、自ら学ぶという姿勢で臨んでもらうのが理想です。そうなるように講義を組み立てていますので、ぜひ自ら学び、日々の仕事での実践にも役立ててください。					
スクーリング 科目	医療福祉サービス組織の人材マネジメント	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	岩田 純		
テーマ 社会保障制度の現状と課題等を把握し、経営学の立場から医療福祉サービス組織の課題としての「人材」をとりあげる 科目のねらい 帝国データバンクによる調査では、2019 年の「医療機関、老人福祉事業者」の倒産件数は、137 件（2018 年は、123 件）に達し、介護保険法が施行された 2000 年以降で最多になった。近年、医療福祉を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しており、環境の変化に適応し、無駄を無くし、効率的な経営をしていかなければ、組織自体の存続が危ぶまれ、長期的・持続的に存在することができない。医療福祉サービス組織もすでに競争がはじまっており、利用者等から「選ばれる時代」に突入しているといえる。 医療福祉サービス組織においても経営視点を持ち、組織マネジメントや人材マネジメントが必要になってきている。一般的に人材マネジメントは、会社や組織の人事部の業務と思われがちであるが、人のマネジメントは、経営目標および計画を実行するプロセスにおいて欠かせない領域であり、経営成果にも大きな影響を及ぼす。守島（2008）は、人材マネジメントを『「企業の戦略達成や競争力維持」と「人材としての活用や成長」という二つの目的を統合しながら行うのが、人材マネジメントである』と定義づけている。また、その役割として「人材を活用して、会社の戦略を達成し、さらに次の戦略を生み出す人材を提供すること」としている。 健全な経営を担うマネジメント力のある人材の確保が医療福祉サービス組織においても必須である。そのためには、医療福祉サービス組織における人材マネジメントと経営戦略、地域社会との連携などを具体的に考える必要がある。そこで、本スクーリングでは、社会保障制度の現状と課題等を把握し、経営学の立場から医療福祉サービス組織最大の経営課題である「人材」をとりあげる。そして、医療福祉サービス組織の人材マネジメントの現状と課題について学び、受講者間でその解決策について考えることを目的とする。					

スクーリング 科目	社会福祉政策国際比較	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	藤森克彦		
テーマ 社会（福祉）政策の国際比較を通じて、今後の日本の支え合いのあり方を考える 科目のねらい 本講義では、社会（福祉）政策 —とりわけ社会保障制度— の国際比較を通じて、日本の生活保障の特徴と限界を理解し、今後の支え合いのあり方を考える。具体的には、貧困問題を取り上げる。現在、日本の貧困率は、主要先進国の中でアメリカに次いで高い水準にある。なぜ日本の貧困率は高いのか、を考える。上記の問題意識をベースに、社会（福祉）政策について、日本とスウェーデンの2か国間で比較する。スウェーデンの貧困率は、日本の2分の1程度である。なぜスウェーデンの貧困率は低いのか。福祉先進国とよばれるスウェーデンの社会（福祉）政策の根本にある考え方やその内容、また、なぜスウェーデン国民は高福祉・高負担を支持するのかを理解し、日本との差異を考える。その上で、日本の社会（福祉）政策の特徴と限界を考察し、今後の支え合いのあり方を考える。					
スクーリング 科目	社会福祉と権利擁護	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	明星智美		
テーマ 「権利擁護」に関する法制度を学び、権利擁護実践における社会福祉専門職の役割を明らかにする 科目のねらい 社会福祉の諸サービスを必要とする人々の生活実態等から、社会的排除や権利侵害の状況の理解を図り、社会福祉領域における権利擁護実践が必要とされる背景を明らかにする。また、日本国憲法をはじめとする権利擁護実践のための法制度の枠組みを整理したうえで、地域における権利擁護実践のイメージの具体化を図る。グループ討議等により、権利擁護実践における専門職の役割とは何かについて、各人の考えを整理し、言語化できることをめざす。科目ホームにあるオンデマンド3講分を受講したうえで、スクーリングに参加すること。なお、オンデマンドは開講日の2週間前から視聴可能となる。					
スクーリング 科目	医療福祉システムの理論と実践 ※隔年開講・2025 年度休講	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	李 忻		
テーマ 医療福祉制度の仕組み及び実践における課題について紹介、討論する 科目のねらい 医療保険制度の基本的仕組みについて理解する。社会保険としての医療保険制度における保険者の役割、各保険制度の財政状況、医療保険給付の内容等について学ぶ。保険者の役割、保険制度の財政状況、保険給付の内容等の視点から、各健康保険組合の現状と問題点、協会管掌健康保険制度の現状と問題点、市町村健康保険制度の現状と問題点を理解することを目標とする。実践的な視点から社会福祉援助の課題を探る高齢・障がい等により、自分の権利を自分で守れない時に、社会福祉の専門職としてどのように援助すべきか、単に施設の運営基準に従って福祉サービスを提供する、という域から脱却していなければ、良い福祉サービスの提供は決して実現できない。実践的な視点から、権利擁護・人権感覚をよく理解した福祉人材は、どのようにコンプライアンスルールに基づきながら福祉サービスを提供するべきか、について理解することを目標とする。					
スクーリング 科目	医療福祉制度と暮らし ※隔年開講・2025 年度開講	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	李 忻		
テーマ 医療福祉制度が人々の、日々の暮らしにもたらす影響について学ぶ 科目のねらい 高齢者の医療保障の制度の仕組みについて学ぶ。加齢と医療費、生涯医療費、後期高齢者医療制度について学ぶ。後期高齢者医療制度が高齢者にとって、どのような制度であるのかについて討論する。後期高齢者医療制度と現役世代医療保険制度との関係、後期高齢者医療制度の財政的な仕組みなどを理解することを目標とする。福祉の総合相談を通じての社会福祉の諸制度及び福祉サービスの活用について学ぶ福祉の総合相談は社会福祉士が中心となって、地域包括支援センターの他の専門職種をはじめ、地域の関係機関等と連携をしながら実施されている。総合相談・支援及び権利擁護の業務は、地域の高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していく上で大変重要な役割を果たしている。高齢者や障がい者の日々の暮らしを支えるためには、総合相談の業務はどのように行われているのか、地域におけるネットワークの構築、虐待の現状及びその対応策、成年後見制度の活用、消費者被害の防止等について理解することを目標とする。					
スクーリング 科目	社会保障の制度と課題	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
		担当教員	李 忻		
テーマ 年金保険制度を中心に、社会保障の諸制度が果たしている所得保障の役割について学ぶ 科目のねらい 年金保険制度が果たしている所得保障の役割について学ぶ。日本の公的年金保険制度の体系、国民年金保険制度及び被用者年金保険制度の仕組みと現状、日本の公的年金保険制度の課題について理解することを目標とする。さらに、今日の社会生活において、老齢年金、障害年金を頼りに生活している人々の現状についても紹介し、公的年金保険制度が果たしている所得保障の役割を理解すると共に年金保険制度の課題について理解を深める。社会保障の諸制度と日本の社会経済の変遷について学ぶ日本は1961年に国民皆保険、皆年金を実現し、本格的に社会保障の諸制度の充実、給付対象者の範囲の拡大、給付レベルの向上などが図られ、福祉国家が実現した。医療保険制度、年金保険制度をはじめとして、どのような社会経済背景の下で、その内容の充実が図られたのか、社会保障の諸制度の充実と社会経済との関係を理解すると共に、少子高齢化及び経済のグローバル化が進んでいる今日の日本においては、どのように社会保障の諸制度の再設計を行うべきか等について理解することを目標とする。					

スクーリング 科目	地域福祉と災害ソーシャルワーク	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～	
		担当教員	山本克彦			
テーマ 災害多発時代の多様な事例から災害時の福祉支援を学び、災害ソーシャルワークを実践的に理解する						
科目のねらい ・災害について知るとともに、被災した地域における環境の変化や、多様な被害について理解する。 ・災害のフェーズを時系列に整理し、各場面での福祉支援を具体的に理解する。 ・災害時に顕在化する多様な生活課題について、ソーシャルワークの展開を基本として理解する。 ・災害時の多職種連携のあり方や、福祉施設等における事業継続（BCM・BCP）について理解する。 ・地域福祉の視点から防災・減災について学び、個人や組織としての役割を理解する。						
スクーリング 科目	単身世帯と社会政策	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～	
		担当教員	藤森克彦			
テーマ 単身世帯の増加がもたらす課題と今後求められる政策について考察する						
科目のねらい 日本は、「家族依存型福祉国家」と言われている。しかし、単身世帯が増加するなど、家族の形態が大きく変化している。そこで、単身世帯を切り口にして、日本社会の課題とその対策を考える。具体的には、単身世帯の増加の実態とその背景についてデータに基づいて理解する。また、単身世帯は、二人以上世帯に比べて、貧困、社会的孤立、要介護時の対応などの点で生活上のリスクが高い。このような生活上のリスクに対して、求められる政策 ―社会保障の機能強化、地域づくり、働き続けられる社会― を考える。最後に、家族の支え合いを前提に構築されてきた日本型福祉国家が、現在岐路に立っていることを認識し、今後の方向性を考える。						
スクーリング 科目	障害者政策と自立支援	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～	
		担当教員	綿 祐二			
テーマ 障害とは？ 過去の障害者政策の矛盾点は？ 障害者の自立と自律とは？ 今後は…						
科目のねらい 障害者政策は、歴史的変遷は決して明るくない。「隔離政策」「優性思想」「差別」など多くの負の遺産が存在する。デンマーク社会省知的障害課の職員であったバンク・ミケルセン（Bank-Mikkelsen, Neils Erik 1919～1990）は、1953 年、親の会の要望から「知的障害者福祉政策委員会」を設置し、1958 年報告書で「知的障害があってもその人は一人の人格を持っているのであり、ノーマルな人と同じように生活する権利を持つ」とノーマライゼーションの思想を確立した。このノーマライゼーションが障害者福祉の世界に大きな影響を与えたのは事実である。本講義では、障害福祉政策の歴史的変遷を追いながら、「そこにある矛盾」を議論していく。1990 年代の社会福祉基礎構造改革が障害者福祉施策に与えた影響、特に 2006 年施行の障害者自立支援法（現在は障害者総合支援法）の理想と現実を押さえながら、今後の障害者福祉施策を検証していく。特に 8050 問題、家族の共依存、経済的共依存、権利擁護、後見について、障害者差別、インクルーシブ教育、合理的配慮などの具体的事例について検討していく。						
スクーリング 科目	被災者支援と福祉防災に向けた実践演習 【クラス制】	単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～	
		担当教員	山本克彦、篠原辰二			
テーマ 「発災後にソーシャルワーカーとしてどう動けるか」に関する知識や技術を、自身の専門性や居住地に置き換えて、より個性をもって具体化していく						
科目のねらい 大規模な災害発生後、被災地からの支援のニーズは段階的に多様化し、それに伴い、支援者には幅広い知識や想像力、臨機応変に対応する力、そして広域的で多職種にわたる機関や団体、人とつながる・つなげる力が必要とされる。本スクーリングでは、他の科目でこれまで培ってきた「発災後にソーシャルワーカーとしてどう動けるか」に関する知識や技術を、自身の専門性や居住地に置き換えて、より個性をもって具体化していく。1 日目には災害被災者に対する中長期的「生活支援」を中心に学び、2 日目には演習を通じて、履修者が平時においても福祉防災の推進を担う力を身に付けていく。そして、受講者同士で広域的な多職種間のつながりを作り、長期的なネットワークとして構築していくことで、万が一の災害時に受講者間で組成する、あるいはお互いに支援が可能なチームへと展開させていくこと目指していく。						
スクーリング 科目	多様なニーズに応える特別支援教育		単 位 数	2 単位	学年配当	1 ～
			担当教員	小野尚香		
テーマ 障害や病気の子どもに対する特別支援教育、貧困や LGBT（SOGI）、ヤングケアラーに対する教育的配慮、そして教育を通じた共生社会について学ぶ。						
科目のねらい 特別支援教育ならびに教育現場において教育的・福祉的配慮を必要としている子どもの現状について基礎から学ぶ。また、特別支援教育対象児の教育現場で配慮を必要としている子どもの課題に取り組む、スクールソーシャルワーカーの活動についても概観する。さらに、その対象児童生徒、法制度（「合理的配慮」）や歴史的経緯、支援・指導の実際、支援ツールとしての ICF、そして、共生社会における特別支援教育の意味について事例を通して学び、その社会的背景、支援・指導の現状、多職種連携による支援の重要性、そして共生社会における特別支援教育や教育的福祉的配慮の意味について理解をすすめる。特別支援教育には社会的文化的脈絡、例えば「サラマンカ宣言」、国連採択の「児童の権利条約」や「障害者の権利条約」、WHO 総会採択の ICF（国際生活機能分類）、また、子どもの人権やグローバルな動きなどが織り込まれている。2007 年に特別支援教育は本格的にスタートし、障害や病気の状態によりニーズのある子どもたちを対象としている。特別支援教育にはまた、子どもがともに育ち、ともに学び、そして現在の共生社会に対する課題を意識しながら、現在、インクルーシブ教育システム、基礎的環境整備、合理的配慮を見現化するための取り組みが重ねられている。保護者支援もまた重視されている。いま、支援のかたちは全人的であり包括的であることが求められる。その意味で、海外の事例にも目を向けたい。一方、教育現場での教育的・福祉的配慮対象として、貧困や LGBT（SOGI）、不登校、ヤングケアラーに対する施策や方策が講じられている。以上のように、本講義では、障害、慢性疾患、貧困、LGBT（SOGI）、不登校、ヤングケアラーなどの「いま」に注目し、教育現場における校内外の教育、福祉、医療、心理専門職や地域の施設との連携による特別支援教育や教育的配慮について、理念と制度と実践を通して理解を深める。						

スクーリング 科目	多職種連携実践（IPW）と多職種連携教育（IPE）の展開	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	上山崎悦代		
テーマ					
多職種連携実践（IPW）・多職種連携教育（IPE）の基本的理解を獲得し、受講者自身が今後活用し得る IPW・IPE の展開方法を習得する。					
科目のねらい					
この科目では、福祉経営学部のディプロマポリシーで求められる、「事業・組織や地域社会の資源のマネジメントに関する基礎概念を説明することができる」、「相互理解や合意形成に必要なコミュニケーションを図ることができる」、「人びとや地域の抱える課題の発見と解決に取り組むことができる」、「論理と根拠に基づいて思考することができる」、「人の尊厳を尊重し、行動することができる」を目的に、多職種連携実践や多職種連携教育の基本的理解の獲得を目指す。今日のソーシャルワークを取り巻く環境は、多様化・複雑化している。また、「2040 年問題」を見据えた地域包括ケアシステムの有機的な展開は、国を挙げての重要な検討課題となっている。援助の実践現場においては、これらに対応するための多角的な視点が不可欠となり、地域住民を含む多職種による連携・協働、すなわち「多職種連携実践（IPW）」が要請される。さらに、IPW を下支えする「多職種連携教育（IPE）」も欠かせない。一方で、IPW は万能ではない。その展開には困難を伴うことも多く、時に実践の阻害要因となる。さらに言えば、IPE の経験のないままに IPW を行わねばならないといった現状も存在する。そこで本科目では、IPW・IPE の基本的理解を獲得すると共に、受講者の多様性を活かした IPW・IPE を実体験できる場とする。講義と演習を組み合わせながら、IPW と IPE を実践的に学び、受講者自身が今後活用し得る IPW・IPE の展開方法を習得する。 ●福祉施設や医療機関等で社会福祉士及び精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、多職種連携や多職種連携教育に関する講義・演習を行う。					
スクーリング 科目	精神障害者と福祉実践Ⅰ	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	青木聖久		
テーマ					
当事者の生の声等を通して、精神障害者のことを理解すると共に、社会福祉実践について学ぶ					
科目のねらい					
本科目では、統合失調症を中心にして、精神障害者のことを様々な側面から知ることを目指す。そこで、精神障害者や家族が、これまでどのようなプロセスを辿り「いま・ここに」いるのかや、いかなる社会的背景のなかで暮らしているのかについて、着眼する。また、精神保健福祉士が、どのような魅力と可能性を有する専門職であるのかについても、第一線で活躍している者の話等を通して、理解を深めることを目指すものである。さらに、「自分が精神保健福祉士になる・精神保健福祉士を活用する」等、様々な「自分及び自分たちができること」について考える機会とする。そして、精神障害者や家族に対する実践的な支援のあり方について学ぶことを目的とするものである。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行なう。					
スクーリング 科目	精神障害者と福祉実践Ⅱ	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	田中和彦		
テーマ					
当事者、実践者、科目担当者の講義等を通して、メンタルヘルス課題におけるソーシャルワーク実践への理解を深める					
科目のねらい					
本科目は「精神障害者と福祉実践Ⅰ」の発展科目である。「精神障害者と福祉実践Ⅰ」では、精神障害者の置かれている現状と課題に対する福祉の視座からの理解、そして精神保健福祉士の実践について学んできた。本科目は、さらにウイングを広げ、メンタルヘルスの課題について理解していくとともに、メンタルヘルス課題に対するソーシャルワークがどのようにあるべきかを深めていく。そのことで、メンタルヘルス課題とそれを取り巻く社会のありようを精神保健福祉の共通的な課題として言語化していくとともに、ソーシャルワークの視点を醸成していくことを目指していく。 ●精神科医療機関（診療所）で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉やソーシャルワークに関する講義を行う。※本科目は、科目ホームにあるオンデマンド3 講分をスクーリング事前に受講したうえで、スクーリングに参加すること。なお、オンデマンドは開講日の2 週間前から視聴可能となる。					
スクーリング 科目	精神・発達障害者の理解と共働【クラス制】	単位数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	青木聖久		
テーマ					
当事者の生の声や科目担当者の講義、さらには、受講生相互の交流等を通して、当事者理解と共働について学ぶ					
科目のねらい					
2013 年の障害者雇用促進法の改正により、2018 年から精神障害者が、法定雇用率の算定基礎に加わることになった。したがって、段階的に企業の法定雇用率が上昇することから、精神障害者の雇用が喫緊の課題となっている。その一方で、2020 年度のハローワークにおける新規の就職件数は、精神障害者が全障害者のなかにおいて、半数以上を実質的に占めている。とはいえ、精神障害者の職場定着率は、きわめて厳しい状況にある。なお、2011 年の障害者基本法の改正により、発達障害者が精神障害者に含まれることになった。よって、精神障害者の範囲には、発達障害者、さらには、高次脳機能障害者も含んでいる。他方、近年うつ病等を患いながら、勤務を続ける者や、職場復帰を目指す者も多い。これらのことから、職場で精神・発達障害者と働くことについて、知識や技術を持つことは、重要なこととなる。また、職場管理の立場の者にとっては、法定雇用という側面のみならず、精神疾患を生み出さない会社づくり、という点からも意義深い。以上のことをふまえ、本講義では、各々の学生が主体的参加のもと、まず、テーマについて考え、事前レポートを提出することから始める。そして、グループワークで深めることによって、精神・発達障害者のニーズ把握、共働のあり方等をはかる。また、精神・発達障害を持っている者の生の声を聴く機会も設ける。これらを通して、本講で、職場において精神・発達障害者と共に働くことの意味と意義、さらには、実践的な方法等について学ぶことを目的とする。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行なう。					

スクーリング 科目	認知症ケアと多職種連携	多	単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	中島民恵子		
テーマ 認知症の人の暮らしの継続を多職種で支える意義と方法について学ぶ						
科目のねらい 2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれている。認知症ケアは個別性が高く、支援の方法も多様である。今後さらに増え続けることが予想されている認知症の人の「その人らしい暮らしの継続」を支えるためには、専門職間および地域の関係者との適切な連携なしでは十分に対応できなくなっている。本講義では、本人がその症状によって失いがちなその人らしさ（個性・意思・尊厳）を保ち、本人が持つ力を発揮できることを支えるために、①認知症の人の症状や特徴などの基本的理解を深め、②認知症の人を取り巻く専門職の役割や多職種で連携し支援するあり方を学ぶ。科目ホームにあるオンデマンド3講分を受講したうえで、スクーリングに参加すること。なお、オンデマンドは開講日の2週間前から視聴可能となる。						
スクーリング 科目	認知症の人と地域包括ケア【クラス制】		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	中島民恵子		
テーマ 認知症の人が地域で暮らし続けられるための包括的な支援体制について共に学び考える						
科目のねらい 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるサービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築が進められている。今後さらに増え続けることが予想されている認知症の人に対して、認知症の人がたどる初期から終末期のステージに応じた地域包括ケアシステムの構築の推進は非常に重要である。本講義では、地域における生活支援を中心に、地域で認知症の人を支えるための具体的な実践方法を知り、認知症の人の特徴に応じた地域での包括的な支援体制について共に学び考えることを目的とする。						
スクーリング 科目	スクールソーシャルワークと学校現場		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	安藤健一		
テーマ 学校現場での子どもたちの現状を理解し、学校におけるソーシャルワーク実践の基礎知識と意義を理解する						
科目のねらい いじめ、不登校、暴力行為、自殺などが教育現場で生じている問題状況や背景には、子どもの心の問題と複雑に絡み合った環境的な問題がある。いま、子どもたちと環境に働きかけ、それらの問題に取り組むスクールソーシャルワーカーの活躍が期待されている。本講義では、教育の場で生じている諸問題を理解し、学校という生活の場で展開されるソーシャルワークの課題について考え、子どもたちへの支援の必要性を理解する。						
スクーリング 科目	司法と福祉の連携とソーシャルワーク	多	単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	鷲野明美		
テーマ 刑事司法の理念と仕組み、罪に問われた人を支える司法と福祉の連携、ならびに、様々な立場におけるソーシャルワーク実践のあり方について学ぶ						
科目のねらい 近年、罪に問われた高齢者、障がい者等への福祉の支援の必要性和重要性が認識され、司法と福祉の連携による支援が進められている。これに伴い、刑事司法分野等へのソーシャルワーク専門職の配置が進み、新たな領域でのソーシャルワーク実践が行われてきた。罪に問われた人たちの社会復帰を支えるには、これら司法分野のソーシャルワーカーの実践に加え、地域で活動するソーシャルワーカー、さらには、住民、保健・医療・福祉・教育等の関係機関との連携による支援が必要不可欠である。この講義では、刑事司法の理念と仕組み、罪に問われた人を支える司法と福祉の連携、ならびに、様々な立場におけるソーシャルワーク実践のあり方について、ドイツにおける取り組みも参考にしながら学ぶことを目的とする。						
スクーリング 科目	アディクションと生きる社会を考える【クラス制】		単位数	2単位	学年配当	1～
			担当教員	田中和彦		
テーマ アディクションをもつ人と共に生きる社会のためにソーシャルワークが何をすべきかを考察する						
科目のねらい 「アディクションをもつ人とかかわりは難しい」と言われることが多くあるが、本当にそうなのだろうか。そうだとしたら、何が困難であり、私たちは何に困っているのか。そして本当に困っているのは誰なのだろうか。本科目はそのような問いを常に意識したい。2010年代に入ってから、アルコール健康障害対策基本法をはじめとする依存症に関する法制度が整備されつつあり、特にアルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル等依存症を中心に依存症対策として国や都道府県レベルで取り組まれるようになってきた。しかし、いまだ治療や支援にかかわる機関や専門職の中には、アディクションへの忌避感情が根強く残っている。繰り返される「支援者から見た」不健康な行為、アディクションをもつ人の治療や支援に対する抵抗や拒否、否認の感情に向き合う支援者たちは、「私たちがかわかって何も変わらないのではないか」という無力感にさいなまれる。本科目では、ソーシャルワークのミクロ・メゾ・マクロの視点を用い、その行動の意味を理解する視点の獲得と、かわかり、地域におけるネットワーク形成、回復者との協働、社会政策のあり方について議論していく。そしてアディクションをもつ人と共に生きる社会のためにソーシャルワークが何をすべきかを考察する。 ●精神科医療機関（診療所）で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉やソーシャルワークに関する講義を行う。						

スクーリング 科目	基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	単位数 2単位	学年配当 1～
		担当教員 小野尚香	
テーマ	健やかに暮らし生きていくという視点から、発達障害にかかわる理解と支援の基礎を学ぶ		
科目のねらい	本講義では、健やかに暮らし生きていくという視点から、発達障害にかかわる医学、福祉、心理、教育に対する理解と支援の基礎を学ぶ。特に、マクロレベル、メゾレベル、個人や家族にかかわるミクロ（マイクロ）レベルにおける、発達障害の知見（理解）と支援に留意する。具体的には、発達障害の課題を広く理解していくために、発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症／学習障害、「第四の発達障害」に関連する児童虐待や愛着障害など）の状態、脳科学を通じた病態生理、制度・政策、現場での支援や保護者支援の方法、そして専門職役割を取り上げて、その現状について事例をあげて検討する。発達障害をめぐる現状には、制度・政策としては共生社会を指向し、支援の在り方だけではなく、人権を重んじ、差別の禁止が謳われるとともに、地域の福祉施設や保育・教育機関、職場においては、発達支援、福祉的支援、教育的支援、就労支援が拡充されてきた。医療機関においても認知療法など様々な療法が取り入れられ、その一方で、家族会や当事者の会の活動もみられる。さらに、世界にも目を向け、発達障害の取り組みについて比較研究の視点から学び、有用な支援モデルについても考察する。		
スクーリング 科目	エンドオブライフとソーシャルワーク	単位数 2単位	学年配当 1～
		担当教員 杉本浩章	
テーマ	エンドオブライフを支えるための、地域社会へ働きかけるメゾレベルと社会を変えていくマクロレベルのソーシャルワーク実践に焦点を当てる		
科目のねらい	今後わが国では、人口構造の大きな変化のなか、その実践分野を問わず、高齢化した社会におけるソーシャルワーク、多死社会のなかでのソーシャルワークが求められることになる。本科目では、最期のときを意識し始めたときからのエンドオブライフを支えるための、地域社会へ働きかけるメゾレベルと社会を変えていくマクロレベルのソーシャルワーク実践に焦点を当てる。医療・福祉マネジメント、保健医療福祉分野とは異なる業種とも連携していく異業種連携、一般市民が住みよい社会を目指して活動するコミュニティ・オーガナイズング等を基軸に、年間の死亡者数が最大となる「2040年問題」を見据えたソーシャルワーク実践のあり方を模索する。		
スクーリング 科目	児童虐待と社会的養護Ⅰ	単位数 2単位	学年配当 1～
		担当教員 河尻 恵	
テーマ	児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）や児童福祉法、さらには令和5年12月に閣議決定された子ども大綱などをもとに、日本の虐待防止対策、並びに虐待等により保護された子どもの養育を担う社会的養護体制の制度、政策について学びを深め、双方の推進と課題について考察する		
科目のねらい	児童虐待防止法施行以来、児童相談所における虐待の相談対応件数は増加の一途を辿っており、虐待の態様も多様化している。国はこれまでにさまざまな対応策を打ち出し、都道府県（児童相談所）や市町村の体制強化を図ってきた。これらを踏まえ、児童虐待対応の経緯や直近の動き（児童福祉法改正、こども大綱決定等）を理解した上で、法的根拠や制度の理解とともに児童相談所（一時保護所を含む）や市町村、民間機関の役割と取り組み状況について学ぶ。あわせて虐待等により子どもを保護する際の法的対応等や、一時保護や社会的養護関係施設、里親家庭など保護を行う機関それぞれの役割や特徴を学び、国が進める家庭養育の推進について理解を深める。なお、上記を学ぶ上では2018年に国が都道府県に対して示した「都道府県社会的養育推進計画」や2022年の児童福祉法改正の内容について具体的に理解しながら、その後の制度設計とその成果や課題について考察する。本科目においては、現場職員による講義や事例などを活用し、できる限り実践的な内容から学びを深めたい。		
スクーリング 科目	児童虐待と社会的養護Ⅱ	単位数 2単位	学年配当 1～
		担当教員 河尻 恵	
テーマ	虐待や不適切な養育環境、喪失体験などにより傷ついた、社会的養護の子どもへの支援について学ぶとともに、親子関係再構築支援など親や家庭への支援を含めた子ども家庭ソーシャルワークを理解する。		
科目のねらい	児童虐待防止法施行以来、児童相談所における虐待の相談対応件数は増加の一途を辿っており、虐待の態様も多様化している。これに伴い、児童相談所（一時保護所）や社会的養護関係施設、里親家庭などにおいては、子どもの最善の利益（権利擁護）を念頭に、さまざまな要因により傷ついてきた子どもへのケースワークやケアワークに苦慮しながらも対応している。本科目では、まずはそういった子どもの状態、および個々のケースに対するアセスメントとニーズ把握について学ぶとともに、子どもの出生、生い立ち、親子関係などが子どもの育ちに与える影響や、虐待によるトラウマなど子どもの状態や行動を理解する。また、親子分離されている子どもの成長に必要な環境づくり、新しい養育者の関わり、医療的ケアや心理的ケアのあり方など、社会的養護のさまざまな実践現場での対応について理解を深める。さらに、虐待の再発防止や早期対応を含めた家庭機能の強化、保護された子どもの家庭復帰または親子関係再構築を目指すためには親や家庭へのエンパワメントなどの支援が不可欠なことから、これらの支援のあり方についても学ぶとともに考察を深める。なお、本科目においては、現場職員による講義や事例などを活用し、できる限り実践的な内容から学びを深めたい。		
スクーリング 科目	子どもの福祉と戦争	単位数 2単位	学年配当 1～
		担当教員 片岡志保	
テーマ	戦争体験者や世界の子どもの実態から、また、社会的養護当事者の語りから、子ども期の権利が侵害されることを追体験して理解する。これらを通して、子どもの権利に対する普遍的意義を学び、現在の日本社会における子どもの問題について理解を深める。		
科目のねらい	今、世界に目を向ければ武力衝突や戦争が長期化し、子どもの権利条約の原則である「生命、生存及び発達に対する権利」が奪われ、多くの子どもが犠牲になっています。戦争は、とくに子どもにとって最大の権利侵害をもたらします。また、日本においては子ども虐待に関する報道は枚挙にいとまがなく、子どもの貧困も問題になっています。本科目では、被爆体験者や社会的養護当事者をゲスト講師にむかえます。また、世界の子どもの目も向け、イラクの子どもの実態について学びます。これらを通して、子どもの権利侵害について考え、子どもの権利が尊重されることの普遍的意義を学びます。また、戦後児童福祉の歩みから、現在の日本社会における子どもの問題を歴史的・構造的に理解し、自分自身と日本や世界の子どもの問題を関連付けて考えることをめざします。授業では、グループワークを通して多角的な視点での学びに取り組みます。一人ひとりの子どもがしあわせな子ども期をすごすために、私たちは何をすべきか考えましょう。		

スクーリング 科目	地域活動実践演習	単 位 数	1単位	学年配当	4～
		担当教員	前山憲一		
テーマ					
「福祉コミュニティプログラム」実施計画の作成					
科目のねらい					
この科目は「通信版ふくし・マイスター」の学びの集大成であり、実際の地域活動について、経験し、あるいは身近に見ることによって、地域活動の内容、あるいは理念を体得することを内容の骨格としている。すでに、地域活動について、ボランティア活動として、あるいは職業として、かかわっている人も、その視野を広げるという点で、この科目が貢献することを願っている。後半では、実践活動を実施した上での報告をまとめ、自らの活動を報告するとともに、お互いに経験を交流することにより、学びを深める。そして、自らの職業、あるいはボランティアな地域活動にどのようにかかわっていくかを考えるきっかけとすることを願っている。					
スクーリング 科目	論文・レポート作成基礎Ⅰ	単 位 数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	新谷 司、中島民恵子		
テーマ					
レポート・研究論文に取り組む準備作業について学ぶ					
科目のねらい					
学習内容は大きく3つに分かれる。第1に、研究計画書の書き方を学び、自己の問題意識または課題を明確にする準備作業を学ぶ。論文・レポート等を作成する場合の計画書に相当する「研究計画書」をいかなるポイントに注意して、どのように作成すべきか、について学び、合わせて研究に対する自己の問題意識または課題を明確にする準備作業を学ぶ。第2に、先行研究の検索及び読み方や量的調査・質的調査の方法を学ぶ。自己の問題意識または課題を明確にするためには、それに関連する先行研究の読み込みが必要である。どのようにして先行研究を検索して入手するのか、いかにして先行研究を読み込むのか、について学ぶ。研究における論証方法、または調査方法として利用される量的研究・質的研究の基礎を学ぶ。第3に、論理的な文書の読み方・書き方を学ぶ。論理的な文書には、正しい文法に基づいていること、適切な表現を利用すること、主張と根拠を明確にしていること、等が必要である。同文書の読み方・書き方を学ぶ。					
スクーリング 科目	論文・レポート作成基礎Ⅱ	単 位 数	2単位	学年配当	1～
		担当教員	新谷 司		
テーマ					
レポートの作成方法と研究論文の作成方法について学び、研究計画書を完成させる					
科目のねらい					
学習内容は大きく2つに分かれる。第1に、論文・レポート等の作成方法について学ぶ。論文・レポート等を、いかなるポイントに注意して、どのように作成すべきか、について学ぶ。「論文・レポート作成基礎Ⅰ」で学んだ内容を復習し、どのようにして論文・レポート等を作成するのかさらに詳しく学び、また調査方法としての質的研究と量的研究についても、さらに詳しく学ぶ。第2に、「論文・レポート作成基礎Ⅱ」用の「研究計画書」を再検討して、「研究論文指導」用の「研究計画書」作成の準備を進める。「論文・レポート作成基礎Ⅱ」の履修者は、同科目用の「研究計画書」をスクーリング前の所定の期日までに作成する。担当教員は同「研究計画書」に対してコメントを提供する。履修者は、教員のコメントとスクーリング当日の学習に基づいて、「研究論文指導」用の「研究計画書」の作成の準備を進める。					
スクーリング 科目	研究論文指導	単 位 数	4単位	学年配当	4～
		担当教員	福祉経営学部(通信教育)教員		
テーマ					
何らかの問題意識をもち、自らテーマを定め考究し、論文を作成する					
科目のねらい					
本科目は、何らかの問題意識をもち、自らテーマを定めて、それについて研究する学生を対象とした科目である。各担当教員のもとで、テーマに応じた適切な方法論、論文構成や内容について、個別にアドバイスを受けながら、最終的に論文を作成する。履修にあたっては、希望する指導教員を指定し、小論文等の課題選考（面接含む）に合格し、一定数以上の単位が修得済みであることが条件となる。					

(5) オンデマンド・スクーリング科目

オンデマンド・スクーリング科目	障害者スポーツ研究	単 位 数	2単位	学年配当	3～
		担当教員	荒賀博志		

テーマ

スポーツを通して、工夫次第で障害者の可能性が広がること、コミュニケーションの手段になることを、実技を体験して理解する

科目のねらい

障害者にとってスポーツとは何かを考える

障害がある人こそスポーツを行うべきではないか。スポーツは、競技性だけではなく、気軽に行い、継続していくことで健康維持・増進、体力の向上につながるものである。その他にも人とつながるためのコミュニケーション手段としても非常に効果的である。障害に合わせてルールを変更したり、方法を工夫することにより、いろいろなスポーツを行うことができる。このことから障害がある人も、自分は「できる！」という自信を持つこともできると考える。本科目では、障害がある人がスポーツを通じて「生きがい」を感じ、積極的に社会参加を行えるきっかけ作りを行うことが、障害者スポーツ指導員の役割であることを理解する。

できることを見えていますか

障害があると、どうしてもできないところを見ってしまうのでは・・・。障害がある人がスポーツを行うときは、「できるところ」を引き出していく考え方が大切である。スポーツを通じて、障害がある人の可能性を引き出す「できるところ」を見つける目を養うことが、本科目の目的である。※本講義では、オンデマンド教材8講の学習も必要です。8月中旬～スクーリング当日までにかならず視聴してください。

オンデマンド・スクーリング科目	心理学実験		単 位 数	4 単位	学年配当	2 ～
			担当教員	福祉経営学部(通信教育)教員		

テーマ

心理学の基本的な実験を経験し、実験結果の報告書の作成方法を学ぶ

科目のねらい

知覚、認知、社会等の心理学の基本的な実験を体験し、実験的技法について学ぶとともに、その報告書を作成することにより心理学における論文・レポートの書き方を学ぶ。受講生は実験者および実験参加者としての役割を遂行し、各実験データの分析を行う。本科目で体験する課題は8課題であり、それぞれの課題について、目的、方法、結果、考察を含むレポートを作成する。

日本福祉大学通信教育部

福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学 通信教育部事務室

TEL : 0569-87-2932 FAX : 0569-87-2308

E-mail : tsqa@ml.n-fukushi.ac.jp URL : <https://www.nfu.ne.jp/>